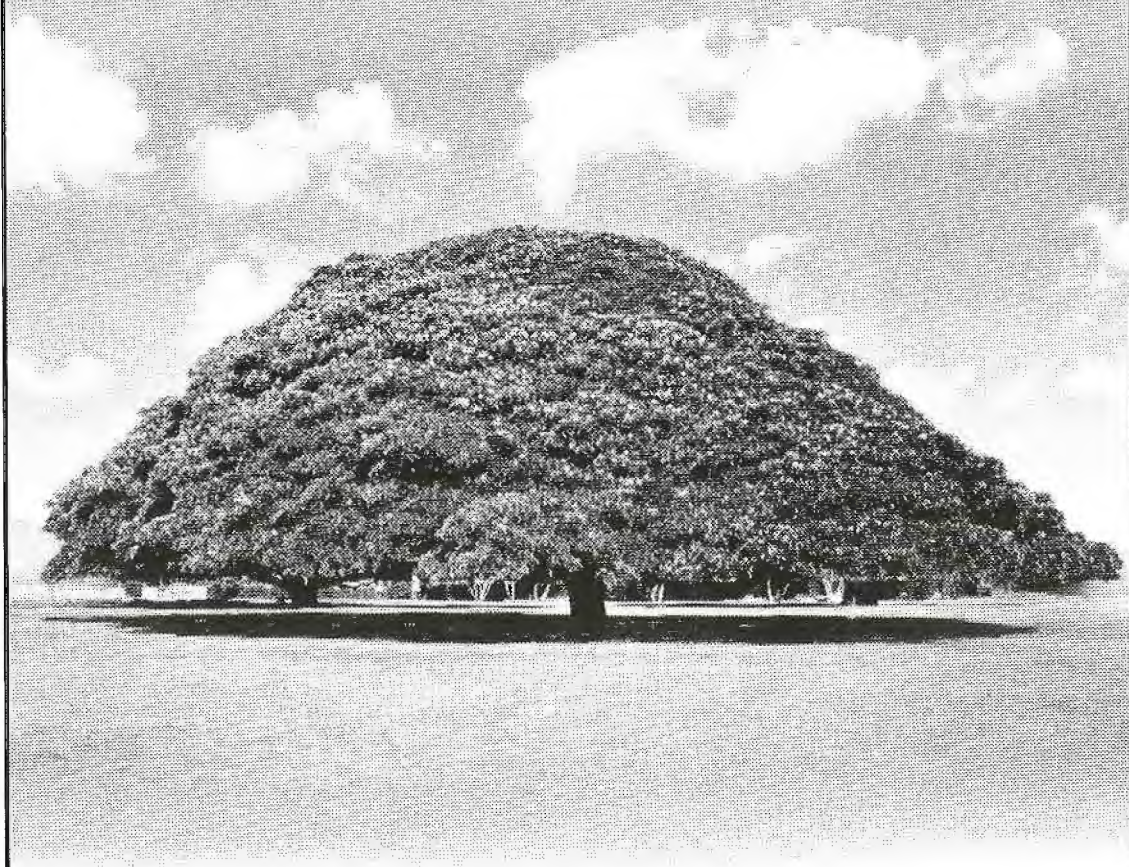


技術の日立



最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

第40回全日本総合選手権大会

大崎電気がアベック優勝!!

第40回全日本総合選手権大会は、12月22日から25日までの4日間、東京・駒沢屋内球技場、駒沢体育館で、男子16チーム、女子14チームが参加して熱戦を展開した。

10月の国体で女子チームの監督・佐藤章治監督が倒れ、11月にはオーナーの渡辺和美氏（日本協会副会長）を亡くすという不幸つづきの大崎電気が、今大会、男女共チーム一丸となつての素晴らしい闘いぶりを見せ、見事男女アベック優勝を飾った。

男子

1 回戦

湧永製薬 31

1318
149

23 福岡大

〔戦評〕立ち上がり両チームとも初戦のためミスが目立ったが、湧永製薬は相手ミスに乗じて速攻で得点する。その後もポスト、ロング、サイドなど多彩な攻撃で加点する。これに対して、福岡大は走りがなく、相手ディフェンスを崩し切れず、苦しい姿勢からのシュートが目立った。

後半に入り福岡大の固さもほぐれ、それぞれのチームの持ち味を生かして得点する。後半互角に戦っているだけに、福岡大にとっては前半の失点が痛かった。

得点
0 0 1 3 0 4 8 4 2 0 1 0
大崎電気
林原田名野坪山岡水 中本
福岡大
北篠山喜久大中末清 島 田野

G K F P (審・小笠原田)

得点
0 0 3 8 6 4 0 0 2 5 3 0
三陽商会
湧永 藤巻原村田川沢取田原塚
井酒河玉堀中長荷奥檜鎌

三陽商会 27
1314
714
21 埼玉教育

〔戦評〕パワフルの三陽商会、テクニクの埼玉教員のゲームは、地

力に勝る三陽が勝利を収めた。埼玉教員の長身選手がいらないにもかかわらず、田中のミドル、速攻、ポストなどで前半終了間際までリードした。

しかし、後半に入ると三陽に細かいプレーを読まれ出し、インタ―セプトから速攻を許してしまつた。埼玉教員の健闘が光つた。

得点
0 0 12 0 5 1 1 0 1 0 1 0
埼玉
崎田中本引田中平藤田村井

G K F P (審・川島)

得点
0 0 0 3 0 5 4 2 6 7 0 0
三陽
宇吉 清田大砂山浜実河吉

筑波大 24
1212
98
17 トヨタ車体

〔戦評〕前半、筑波大は相手チームのミスをうまく速攻に結びつけ、

得点
0 0 1 6 1 4 2 0 0 0 0 3
車体
田林統野田島長野山原上合

G K F P (審・浅井)

得点
0 0 4 2 4 1 7 1 1 3 1 0
大崎電気
井松田藤保中田内田田原井

24 (2) P T

得点を重ねた。しかしトヨタ車体は、ノーマークシュートのミスで筑波大に追いつけず、4点をリードして筑波大が前半を制した。後半に入り、勢いに乗った筑波大は、学生らしいスピードをフルに使い、終始リードのまま7点差で終わった。

日新製鋼 40 [1723][1512] 27 氷見ク

〔戦評〕高いディフェンスの日新の壁をどのように切り崩して攻めるか、氷見のチームワークに期待をもったが、パスカットから速攻というパターンで前半15分で大差がついてしまった。しかしゲームを捨てず、その後ようやく氷見らしいパスワークが見られ加点したが、スピード、パワー、体格とも勝る日新に自由自在にゲームを運ばれてしまった。

後半に入ると、日新のディフェンスが雑になり、そこを氷見がよく攻めた。後半25分まで互角のゲーム展開となる。

得008020405062
見谷打原戸原山川口 崎山崎
永水桜金瀬中西堀山 山中指

G K F P (審・島崎) P T
新田 田山木斐野田本中村
日森 武西高甲日堀藤野木
得007823052535

大崎電気 28 [1315][118] 15 長野教員

〔戦評〕大崎は首藤、長野は矢島と共にエースを負傷で欠く。特に長野に戦力面での劣勢が心配されたが、岩下を中心によくまとまっている長野は、立ち上がりから好プレーを見せ、8分まで3-2とリード。しかし、地方のある大崎は同点に追いついてから徐々に力を発揮し、前半15-7とリード。後半に入っても絶えずリードを保ち終了した。大崎の雑なシュートというよりも、長野のGKを中心とする必死のディフェンスがゲームをひきしめた。

得0011200083010
長野 島島内川田条林越下野原村
〔中北竹塩行中若鳥若伴小中笠〕

G K F P (審・福田) P T
〔戦評〕早大が3点先取し、点差を広げリードしていく。本田技研・山口の浮かしシュートから反撃、徐々に点差を詰める。後半すぐ本田技研のスカイプレーが見事に決まり、同点とする。両チームともミドルシュートが得点となるが、パスミス、シュート

早稲田大 34 [1717][1116] 27 熊本

〔戦評〕早大が3点先取し、点差を広げリードしていく。本田技研・山口の浮かしシュートから反撃、徐々に点差を詰める。後半すぐ本田技研のスカイプレーが見事に決まり、同点とする。両チームともミドルシュートが得点となるが、パスミス、シュート

得004030213285
大崎 松和 岡田田藤田迫田内馬下
〔渡松大武首中越管山相宮〕

ミスなどがあり、一進一退のゲーム展開であったが、早大が勝利を得た。

得000531339003
熊本 尾本野田代村中口崎一迫透
〔中宮矢荒三松田山川長佐長野〕

G K F P (審・岡本) P T
大 藤橋橋中村原平 野田林斐
早須高大大大孤島 河清小甲
得0025982000008

大同特殊鋼 37 [2413][178] 15 浦添ク

〔戦評〕前半立ち上がり、浦添クは攻撃のミスから大同に速攻とボストプレーなどで得点を重ねられ、10分までに4-1と引き離された。中盤に入ると、浦添クは新垣、東江らの連続ポイントや高良のサイドシュートなどで追い上げるが、大同も高村、中本らの得点で前半13-8とリードして折り返した。後半に入ると、10分までは浦添

得030410021331
浦添 黒比新宮内新東上高宮
〔高島嘉垣里原里江原良城〕

G K F P (審・後藤) P T
同 村吉中藤村生石木浜藤本取
〔大上秋田内高朝明植横佐中名〕

得006051315646
同 村吉中藤村生石木浜藤本取
〔大上秋田内高朝明植横佐中名〕

下がったが、20分過ぎからは大同のGKの秋吉の好守もあり、逆速攻からの得点で37-15の大差で勝負がついた。

本田技研 49 [2524][176] 13 自衛隊員

〔戦評〕立ち上がり、自衛隊員のキレのいい動きとオールコートプレスのもどりに本田にミスが出て3-1と自衛隊員がリード。しかし、10分過ぎ自衛隊員・池田の退場を境に本田は好ディフェンスから速攻などで10連取し、15-4と試合を決めた。自衛隊員GK須堯の好キープもあったが、本田にシュート、パスのイージーミスが目立った。

後半も10分までは自衛隊員も池田のミドルなどで健闘したが、さすがに本田の速攻のスピードもどきられず、得点差は開いた。イージーなパスミスなどがなくなればもっといいゲームができたはずで、惜しまれる。

得000400213003
二 二 二 二 二 二 二 二 二 二
〔一須山寿塩岩児山池亀村利〕

G K F P (審・浅井) P T
〔鈴鹿〕 畑本砂井木上藤屋口本村子
〔大橋真藤立尾内栗田山山平〕

得00441335102668
〔鈴鹿〕 畑本砂井木上藤屋口本村子
〔大橋真藤立尾内栗田山山平〕

西武トラベルでは観光はもちろん、スポーツイベントなど各種団体旅行をはじめ、研修・視察・招待まで、目的や主旨に沿った企画手配をいたします。安全で快適な旅のパートナーとして、是非西武トラベルをご利用下さい。

旅のパートナー

快適な
西武トラベル

運輸大臣登録一般旅行業139号
社団法人日本旅行業協会(JATA)の正会員です
新橋営業所 (03)459-8186

2 回 戦

湧永製薬 24 [1410 | 38] 11 三陽商会

〔戦評〕立ち上がり、両チームとも全く互角の試合でスタート。特に三陽商会のディフェンス、G K 宇田川の好守で、王者・湧永の連続得点を許さずに一進一退を繰り返す。しかし20分過ぎ、玉村のPT、G K 井藤の速攻へとつなぐ素早いパスで3連続得点で湧永はやっと主導権をとり、前半を終了。

後半に入り、疲れの現れた三陽ディフェンスは、前半おさえていたポストへのパスを通されるようになり、前半は許さなかつた連続得点につながり、湧永の楽な展開となりそのまま終了。

得0 0 0 4 0 1 1 2 0 3 0 0
陽川田 家口塚川口田方川原
〔三陽〕宇吉 清田大砂山浜実河吉

G K F P P T (2) 11

得0 0 2 1 1 3 0 1 2 2 2 0
湧永 藤巻原村田川沢取田原塚
〔湧永〕徐 井酒河玉堀中長荷奥楢鎌

G K F P P T (4) 24

日新製鋼 34 [1717 | 1310] 23 筑波大

〔戦評〕立ち上がりから両チームとも気迫のこもったスピーディな攻防を展開、レフェリーの歯切れ

のいい笛もこれを助け、好ゲームとなった。パワーに勝る日新は3分過ぎからポスト、サイド、速攻ロングと多彩な攻めで5点を連取し、主導権を握り、以降も好ペースでゲームを展開、17-10で前半を終る。

後半も両チームのスピーディなガッツあふれるプレーは見応えがあった。筑波にミスが多かつたこと、ポストで得点ができた分、日新が勝ったゲームであった。

得0 0 1 2 3 4 8 0 0 4 1 0
波井松田藤保中田瀬内田田原
〔筑波〕沢永久加宜田正広山吉鎌篠

G K F P (審・浜田) P T (6) 23

得0 0 4 5 8 2 2 5 5 2 0 1
新田 田山木斐村野田本田中
〔新田〕谷 武西高甲大日堀藤池野

G K F P (審・小笠原) P T (1) 34

大崎電気 35 [2114 | 1110] 21 早稲田大

〔戦評〕ナショナルプレーヤー4人を含む日本リーグの雄・大崎電気は学生界きつてのシャープなシューター・甲斐を軸とした学生チームピオン・早大が胸を借りての対戦となった。速攻、ポスト、サイドロングシュートと多彩に攻める大崎に対し、早大は甲斐の7点を中心に何とか食い下がろうと努力するが、好機に矢内のナイスキープに阻まれ、14-10で前半を折り返す。

得0 0 2 0 3 3 3 0 0 0 0 13
大藤橋中村原平 野田林斐
〔早大〕須高大大大孤島 河清小甲

G K F P (審・川島) P T (3) 21

得0 0 3 4 3 3 3 6 3 3 0 7
〔鈴鹿〕畑本砂井木上藤屋口本村子
大橋真藤立尾内栗田山山平

G K F P (審・森) P T (3) 32

後半、大崎は宮下、相馬らのロングシュートと速攻で加点し、大崎ペースで試合を進め、35-21で終了する。

得0 0 0 1 2 5 1 0 0 2 4 1
新田 田山木斐村野田本田中
〔新田〕谷 武西高甲大日堀藤池野

G K F P (審・島崎) P T (1) 16

得0 0 4 3 1 3 3 2 3 0 8 8
〔大崎〕渡矢松大武齊中越富山相宮
〔大崎〕松大武齊中越富山相宮

G K F P (審・島田) P T (2) 35

得0 0 1 3 2 5 0 3 0 3 1 3
同村吉中村生石木浜藤本取田
〔同村〕上秋田高朝明植横佐中名海江

G K F P (審・川島) P T (2) 21

得0 0 1 3 2 5 0 3 0 3 1 3
同村吉中村生石木浜藤本取田
〔同村〕上秋田高朝明植横佐中名海江

G K F P (審・川島) P T (2) 21

得0 0 3 4 3 3 3 6 3 3 0 7
〔鈴鹿〕畑本砂井木上藤屋口本村子
大橋真藤立尾内栗田山山平

G K F P (審・森) P T (3) 32

村らのロングで必死に反撃したが力及ばず、準決勝進出は果たせなかつた。

準決勝

湧永製薬 26 [1610 | 511] 16 日新製薬

〔戦評〕立ち上がり互いに知り尽くした両チームは、立ち上がりから激しい攻防を繰り返すが、確実に勝る湧永が先手を取った中盤武田を中心にする日新のパスワークが冴え、逆転し、日新リードで前半終了。

後半、日新の攻撃リズムが単調になり、湧永が早い得点リードを奪い返した。反撃を試る日新は、速攻の失敗も目立ち、湧永が余裕

得0 0 0 1 2 5 1 0 0 2 4 1
新田 田山木斐村野田本田中
〔新田〕谷 武西高甲大日堀藤池野

G K F P (審・井上) P T (1) 16

得0 0 0 2 9 1 1 6 5 2 0 0
湧永 藤巻原村田川沢取田原塚
〔湧永〕徐 井酒河玉堀中長荷奥楢鎌

G K F P (審・井上) P T (1) 26

大崎電気 21 [912 | 109] 19 本田技研

〔戦評〕迫力満点の両チームは、共にダイナミックなプレーの連続で素晴らしいゲームであった。スタートから先手を取りつづけ

OSAKI



電気をみちびく。

未来へみちびく。

— 計測と制御 —



大崎電気工業株式会社

本社 東京都品川区東品川2-2-7
電話 (03) 443-7171(代表) FAX (03) 447-5844



男子決勝、大崎が気迫あふれるプレーで終始先手をとった

得点	0	0	5	0	0	5	1	2	0	0	4	4
大崎	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
渡矢	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
大武	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
首中	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
山越	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
菅相	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
宮	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
得点	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
大崎	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
渡矢	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
大武	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
首中	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
山越	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
菅相	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		
宮	0	0	5	0	5	2	3	0	4	0		

た本田に対し、前半中ば、リードを奪い返した大崎は、後半に入っても矢内の好キープング、宮下の力強いロングシュート、相馬の切れの良いシュートがさく裂し、楽勝かと思われたが、後半24分、やや疲れの見え出した大崎の崩れに乗じ、2点差に追い上げ、がぜん盛り上がった。1点差になるべく栗屋のシュートをはじき返した矢内の美技に救われ、ふり切った。素晴らしい好ゲームであった。

決勝

大崎電気 21 (12 | 9) 18 湧永製薬

〔戦評〕予想通り決勝戦へ勝ち上がってきた両チームの対戦は、ゲーム開始早々からスピードあふれる激戦となった。

大崎リード、湧永追撃で互角の前半の様子の中で、最初の山場は前半残り2分で大崎2名退場の場

面。このハンデを逆に大崎は2点連取し、前半を3点差で折り返した。

後半に入っても一進一退の息づまるような接戦の展開は変わらず決勝戦にふさわしいスリリングは好試合となった。しかし、大崎が一歩リード、湧永の必死の追い上げをかわし、18年ぶりの優勝を遂げた。

女子

1回戦

筑波大 29 (14 | 15) 18 JUKI

〔戦評〕筑波大は林を軸にロングシュート、パス回しからのポストプレーをたくみに使い、JUKIのディフェンス陣をかわし、点を積み上げていった。JUKIは筑波大の高いディフェンス陣に対して、ボールを回してノーマークをつくらうとするが、ミスが目立ち

得点	0	0	5	1	2	1	3	3	3
大崎	0	0	5	1	2	1	3	3	3
渡矢	0	0	5	1	2	1	3	3	3
大武	0	0	5	1	2	1	3	3	3
首中	0	0	5	1	2	1	3	3	3
山越	0	0	5	1	2	1	3	3	3
菅相	0	0	5	1	2	1	3	3	3
宮	0	0	5	1	2	1	3	3	3
得点	0	0	5	1	2	1	3	3	3
大崎	0	0	5	1	2	1	3	3	3
渡矢	0	0	5	1	2	1	3	3	3
大武	0	0	5	1	2	1	3	3	3
首中	0	0	5	1	2	1	3	3	3
山越	0	0	5	1	2	1	3	3	3
菅相	0	0	5	1	2	1	3	3	3
宮	0	0	5	1	2	1	3	3	3

得点	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
大崎	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
渡矢	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
大武	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
首中	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
山越	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
菅相	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
宮	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
得点	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
大崎	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
渡矢	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
大武	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
首中	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
山越	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
菅相	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0
宮	0	0	0	3	3	1	3	0	1	5	2	0

得点	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
大崎	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
渡矢	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
大武	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
首中	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
山越	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
菅相	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
宮	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
得点	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
大崎	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
渡矢	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
大武	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
首中	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
山越	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
菅相	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1
宮	0	0	0	1	2	6	1	2	1	1

滋養強壯剤

キョーレオピン®

効能・効果

○虚損強壯○虚部体質○肉體疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

薬用人参・牛黄・大蒜製剤

レオピン®

ファイブ

湧永製薬株式会社

〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号 ☎06(458)8901℥

〒101 東京都千代田区三崎町1丁目3番12号 ☎03(293)3351℥

後半開始後、京都は池田を中心に攻撃を展開したが、シャトレーズの力量が上回り、18―5でシャトレーズが一方的ゲームを終了した。

大和銀行 30
 $\begin{array}{|c|c|} \hline 1317 \\ \hline 118 \\ \hline \end{array}$
 19 全福岡

〔戦評〕日本リーグ勢とクラブチーム、どこから見ても大和銀行が楽勝するゲーム。にもかかわらず今季の不振を象徴するかのよう到大和の切れのなさが目立った。

ゲームは、大学のベテラン O G で固める福岡が、今村の好リードでマイペースで闘った。大和は、前半中ばからエース丸田などのロングシュートが入り出し、リード結局 11 点の差をつけ順当に勝利した。

大和の攻撃の狭さ、速攻の少なさが気にかかる。福岡のキャリアを充力生かしたハンドボールに好感が持てたゲームであった。

〔福岡〕	得
上野	002811020050
沢村	002811020050
今田	002811020050
松田	002811020050
薮妹	002811020050
田川	002811020050
尾中	002811020050
田木	002811020050
橋本	002811020050
長澤	002811020050
横瀬	002811020050
(4)	19

G K
F P
〔 審・川
森 島 〕
P T

得〔大和〕	見口田木瀬村池本辺川田川
007503523500	増坂丸鈴赤上小藤渡襲松平
30	(1)

ジャスコ 26

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 1610 & \\ \hline 812 & \\ \hline \end{array}$$

 20 東女体大

〔戦評〕 5分間無得点の立ち上が

りからジャスコが3-0と抜け出すが、東女体大もサイド、ポストで3-3とする。共にスピードのある互角の内容ながら、ジャスコがGK小深田の好守で18分には9

―4とリード。しかしこの後、ジャスコの展開を読んだ東女体大が速攻などで加点し、12―10と逆転して前半を終る。

後半、東女体大のミスを送攻につなげてジャスコが12分に18―15とひっくり返す。東女体大も追うが差はそのまま、20分、ジャスコ2人退場の好機にPTミス、5人―2人の速攻をインターセプトされるなどで失点して、完全にジャスコのペースとなった。

雑な失点が少ない、内容のある好ゲームだった。

[illegible]

ヤ	田	}	G K	
深	部		F R	
々	木		〔	
	田			審
	藤			・
	石	北		
	井	上		
	田	久		
E	出	井		
		〕		
(3)		P T		

得0
0
2
2
1
5
0
8
0
4
0
4

26

山立
鹿橋
36
142
147
11
広島
ク

「戦評」明らかに実力差のあるチームの対戦である。

広島クは中田のミドルを軸に攻撃するが、立石のスピード、パワ

ー、そしてロング、ポスト、速攻

と多彩に繰り出される攻撃になす
すべもなかった。

結局、立石が終始リード、36
11で試合を終えた。

岡本西木田本田岡松部河中

G K { 永山本水山猫中藤高長立吉
F P {
〔審・井島上崎〕
P T { (0)

得	〔立石〕	本島口内口中田嶋津山嘉村
0	岡	}
0	川	
0	山	
1	山	
2	江	
6	田	
0	横	
4	野	
0	武	
5	中	
10	比	}
8	石	
36		(3)

日立栃木20
 $\overline{1010}$
 $\overline{109}$
 19日体大

〔戦評〕両チームともに前半は慎重にゲームを進め、5分過ぎから日立、日体大ともに得点を入れ、

互角の試合内容。日立のロング、日体大のミドル、ポストと持ち味を生かした。

後半は、日立のディフェンス前の速いボール回しからシュート、日体大の速攻と両チームの動きの

得	1	0	0	2	3	4	1	1	1	2	0	4
体	永	松	来	館	田	島	田	林	玉			
日	松	小	市	大	外	新	小	中	小	児	福	
	松	小	市	大	外	新	小	中	小	児	福	

(7) 19

G K {
F P
〔審・清岡〕
〔水本〕
P T

立} 本津原田岸苗村田毛井鶴塚
(2)

得〔日
0岡
0梅
0管
4柳
3山
2尾
2中
3岡
0石
2新
4吉
0飯

20

速い攻撃にして白熱したゲーム展

開、惜しむらくは日体大の得点期の速攻ミスが最後まで響いた。

2
回
戦

大崎電気 39
 $\begin{array}{|c|c|} \hline 1821 & \\ \hline 1612 & \\ \hline \end{array}$
 28 筑波大

〔戦評〕筑波大が先行し、大崎電気が速攻、ポストで反撃する。5分過ぎから両チームともに速攻、

ミドル・ホスト・カットイン・ロ
ングなどで得点し合い、白熱した
ゲーム展開が期待されたが、地力
に勝る大崎が10分あたりより金、

これに対して筑波大は、中山、

林のロングシュートで応戦するが、相手の速いディフェンスの動きを崩し切れなかった。後半に入り、

筑波大もよく健闘したが、前半の失点が大き過ぎた。

〔筑波〕村下崎川崎田崎塚鳥山
〔吉山〕鋤相山和磯大白中
林内
(2)

崎] 木片田尾永川原口田木 金井	G K
	F P
〔 審・井島 上崎 〕	P T

得〔大
0佐
0宗
0森
7松
1須
5前
6梅
4江
1野
1鈴
8
6

39

シ
ヤ
ト
5

9	12
14	7

3
二
口
限
有
限
公
司

2020年10月25日

- 5 -



女子決勝、双方闘志あふれるプレーで大熱戦を展開

〔戦評〕両者ともにセット攻撃の力があり、立ち上がりから気迫の入った好プレーの応酬。中盤過ぎジャトレーゼがリードして前半終了。後半、大和のG KがPTを阻止し、丸田のロングシュートを中心にぐんぐんと追いつけた大和が28分30秒同点、延長に入る。

得点	0	0	3	7	5	3	0	2	0	1	4	0
選手	山藤	崎道	沼沼	林寺	原方	岸宿						
G K												
F P												
審判												
水												
PT												
(3)												

立石電機 17
鹿 17
9-8-16
ジャスコ

〔戦評〕立石電機が前半1点を先取り、調子の波に乗るかと思ったが、9分過ぎ、ジャスコが1点、2点と得点し、15分過ぎジャスコが近藤のミドルシュートで逆転し前半を終える。

得点	0	0	0	1	1	2	3	0	2	1	4	0
選手	田部	木田	藤石	井田	田出							
G K												
F P												
審判												
福田												
PT												
(2)												

あり、選手個人への持っている能力を存分に発揮し、1点を争うゲームであったが、立石電機が勝利を得た。

日立栃木 19
10-9-16
ビクター

〔戦評〕ベストメンバーを組めない両チームは、ともするとプレーが単調に走りがちで、リズムに乗れない攻撃が続いた。前半、絶えずビクターが一歩リードするも、終了間際に日立が逆転した。

後半に入ると、山岸を中心に積極的な展開を図る日立が徐々に差を広げた。中盤、日立の何回かの退場のチャンスはビクターは拙攻を繰り返し、逆転できずに終了した。

得点	0	0	4	0	1	0	3	0	3	4	1	0
選手	橋藤	田川	松田	藤岡	本村	内之						
G K												
F P												
審判												
北井												
PT												
(2)												

準決勝

大崎電機 30
14-16-22
シャトレ

〔戦評〕連続優勝を狙う大崎電機は、韓国からの「助っ人」2人とキャプテン松尾のコンビで得点を

重ねる。対するシャトレーゼは、海道、生方のロングで対抗し、前半15分まで互角の戦いであったがその後大崎はG K佐々木の好守に助けられ、点差を広げた。

後半に入り、シャトレーゼは小林の連続サイドシュートで大崎を追い上げるが及ばず、30-22で大崎の決勝進出が決まった。

得点	0	0	3	5	5	3	0	1	0	3	1	1
選手	藤葉	崎道	沼沼	林寺	原方	岸侯						
G K												
F P												
審判												
川島												
PT												
(2)												

立石電機 15
6-9-14
日立栃木

〔戦評〕両チームとも開始直後固くなり、ミスが続く、20分で大崎5-4日立のロースコアの試合展開となったが、立石・井監督は作戦タイムをとり、指示を与える

と、立石はフォーメーション、サインプレーで3点連取。

後半に入り、7分間で日立は連続PTで1点差まで迫ったが、2回の相手の退場中に得点をあげることができず、終了直前の速攻をからめた激しい追い上げも実らず1点差で逃げ切られる。

立石は2日続けての1点差勝利。3年ぶり7回目の決勝進出。

得点	0	0	0	4	0	0	1	2	0	0	8	6
選手	木片	田尾	永川	原口	田木							
G K												
F P												
審判												
後藤												
PT												
(3)												

決勝

大崎電機 21
11-10-20
立石電機

〔戦評〕大崎は、金、尹の二枚看板が多彩なプレーで得点をあげていった。一方立石はキャプテン江口の粘りのあるプレーで得点をあげ、前半は互角の戦いであった。

後半に入り、コンビネーションプレーを生かしたプレーが両チームから見られ、得点は開かず一進一退の攻撃戦であった。終盤に入り、攻撃パターンの豊かな大崎がリードした。必死に追いつける立石だが、善戦及ばなかった。

後半に入り、7分間で日立は連続PTで1点差まで迫ったが、2回の相手の退場中に得点をあげることができず、終了直前の速攻をからめた激しい追い上げも実らず1点差で逃げ切られる。

立石は2日続けての1点差勝利。3年ぶり7回目の決勝進出。

得点	0	0	0	4	0	0	1	2	0	0	8	6
選手	木片	田尾	永川	原口	田木							
G K												
F P												
審判												
後藤												
PT												
(3)												

得点	0	0	0	0	2	1	0	0	2	3	0	6
選手	本津	原田	岸苗	村田	毛井	鶴塚						
G K												
F P												
審判												
小笠原												
PT												
(4)												

全日本総合を取材して

読売新聞運動部 谷戸忠司

40回目を迎えた昭和63年度の全日本総合選手権大会は、24年ぶり史上2度目という大崎電気の男女アベック優勝で幕を閉じた。私事で恐縮だが、大会前の予想記事で、私は大崎電気がアベック優勝に向けて一丸になっているという話を書いた。10月に女子の佐藤章治監督、11月にはハンドボール部生みの親である渡辺和美オーナーを相次いで失い、チームが『辛い合戦』に強い決意を見せていたからだ。それが、図らずも的中した形になり、私にとっても忘れない大会となった。

もともと、大崎電気のアベックVの可能性を、どの程度に見ていたかといえ、かなり低いのではないかと思っていた。日本リーグ前期で圧倒的な強さを見せた女子

はともかく、男子は湧永製薬の牙城を崩すのは難しい気がした。だが、決勝で優勝チームにふさわしいプレーを見せたのは、むしろ男子の方だった。

勝利への執念、気迫——月並みな言葉だが大崎男子はこの点で湧永セブンを大きく上回った。主将の山本は、大会初日に持病のすい臓が悪化、前日の準決勝からの出場だったが、大崎の1点目をはじめ、前半15分で5得点。これで他の選手が燃えてきたのはいうまでもない。

前半9分、PTで4—3と初めてリードを奪った後、つねに1—3点の少数点差ながら最後まで湧永にリードを譲らなかつたところにも、気力の充実ぶりがうかがえた。最大のヤマ場は前半残り2分。

2点リードの場面で大和田、首藤が反則退場した。しかし、この大ピンチに、大崎は中田が相手パスミスからの速攻を決め、さらに宮下も正面からのロングと連続得点。ここで湧永に同点。もしくは逆転を許していたら、後半の展開はかなり違ったものになっていたはずで、その意味でも勝敗の大きな分岐点となった。

さらに忘れてはならないのがGK矢内の神がかり的ともいえる好キーピングだった。荷川取、檜原という湧永の誇る大型ダブルボストのシュートを、ほとんどシャットアウト。MVPがあつたら文句なしに選ばれたほどの活躍だった。

試合の行方が決定的になった終盤、コート周囲で大崎電気の全盛時代のOBたちが、男子にとつ

ての17年ぶりの圧勝の瞬間をいまや遅しと待構えていた姿が印象的だった。

一方、女子は予想外の接戦になった。連日30点台の得点で勝ち上がってきた大崎に対し、立石電機山鹿は2回戦、準決勝かいずれも1点差の辛勝で得点も10点台。『大崎の楽勝』という声が大勢を占めたのも無理はなかつた。だが大崎は動きが硬く、ミスも多くて前半は10—10。後半も残り6分から猛追を受けてわずか1点差の勝利、終了40秒前、立石のオーバーステップがなければ、延長戦になりかねない展開だった。とはいえ、『勝つて当然』のブレッシヤーに苦しみながら、それをねのけてV2を達成したのは見事。立石も、この日の苦戦が大きな自信になったはずである。

このように、今大会は珍しく感動的なフィナーレとなったが、大会を通じた印象はいえ、低調という言葉を使わざるを得ない。決勝戦を除けば、白熱した試合が少なかつたし、その決勝も含めてミスの目立つ試合が多かつた。パスマス、キャッチミスなどイメージミスは、試合の興味をそぐこと

にもなってくる。

とくにソウル五輪で惨敗を喫した男子は、この大会で再起に向けての意欲を期待したが、緩慢なプレーが多かつたのには失望させられた。

観衆の不入りが、低調なプレーの遠因になっていることは否定できまい。もともと、多くの観客動員を見込めない競技であるのに加え、会場も交通の便がよくない駒沢というハンデは確かにある。しかし、大会当日に隣接のグラウンドで高校チームのオープン大会が開かれていたのに、全日本総合を見に会場へ足を運んだチームは少なかつた。日本のトップレベルのゲームを見る機会は、そうあるとは思えないのだが、積極的な試合観戦の呼びかけをしていたら、違つたものになつたような気がする。

会場にしても、東京体育館の新装を慢然と待つだけでなく、前々回のように後半2日間だけでも都心の施設で行うことはできないものか。

日本協会をはじめ、主管団体らの大会運営に対する前向きな姿勢が望まれる。

男子

早稲田大

が優勝

女子

東京女子体育大

男子

予選リーグ

▼A組

福岡大 29
1415
1411
25 大経大

国士館大 33
1716
1117
18 順天堂大

福岡大 28
1414
1019
19 国士館大

順天堂大 30
1812
1410
24 大経大

福岡大 32
1319
1611
27 順天堂大

国士館大 38
1622
9 9
18 大経大

〔順位〕①福岡大②国士館大③順天堂大④大阪経済大

▼B組

早稲田大 33
1518
9 11
20 天理大

法政大 25
1411
1012
22 同志社大

早稲田大 30
1713
1414
28 法政大

天理大 23
1211
1110
21 同志社大

早稲田大 28
1117
12 3
15 同志社大

法政大 29
1415
14 9
23 天理大

▼C組

大体大 27
1215
7 6
13 久工大

筑波大 24
1311
9 12
21 函館大

大体大 26
1313
9 7
16 函館大

筑波大 36
1818
11 7
18 久工大

筑波大 28
1315
9 8
17 大体大

函館大 29
1811
9 14
23 久工大

〔順位〕①筑波大②大阪体育大③函館大④久留米工業大

▼D組

日 大 32
1814
9 11
20 京産大

中部大 26
1214
15 8
23 日体大

日 大 25
1213
8 16
24 日体大

中部大 28
1513
17 11
28 京産大

中部大 27
1512
12 11
23 日体大

日体大 30
1614
13 12
25 京産大

〔順位〕①中部大②日本大③日本

準決勝リーグ

▼I組

早稲田大 31
1516
1512
27 国士館大

〔戦評〕前半は早大が速攻を中心に得点を加えていった。国士大も速いパス回しから中里のサイドシュートなどで応戦した。しかし、大事なところで早大の甲斐がロングシュートを決め、点差はなかなか縮まらなかった。
後半に入ると、国士大は甲斐にマンツーマン・ディフェンスをつけ反撃を試みた。45度林、源内を中心にセットオフエンスで点差を縮めていったが、大事なところで単発シュートを放ち、逆速攻を受けて同点まで追いつけず、そのまま早大が逃げ切った。

得点 0 0 4 0 4 7 0 6 6 0 0 0
大田子 瀬洞野 尾内里 野尾林
〔国〕神金猪長小 八源中小寺竹
(1) 27

G K F P (審・高森橋山)

得点 0 0 8 4 0 1 9 6 1 2 2 0
早大 橋藤斐田林中橋村原平
〔早〕高須甲清小大 大 大 大 大 大 大
得点 0 0 8 4 0 1 9 6 1 2 2 0

福岡大 38
1919
1312
25 法政大

〔戦評〕序盤は両チームともシュ

体育大④京都産業大

1トミスが目立ったが、10分過ぎ頃から福岡大は中山のロング、大堀、喜友名のサイドで攻撃すれば法大はパス回し、カットインの攻撃で応戦した。

後半に入って、法大はパス回しからずらし、カットインで攻撃するが、福岡大はディフェンスからの速攻で次々と加点していき、そのまま逃げ切った。

得点 0 0 5 0 4 5 2 2 3 4 0 0
法政大 浅中大神 田増中田安荻佐
(2) 25

G K F P (審・岡本水)

〔戦評〕立ち上がりから両チームともロングシュートを警戒してか1・5ディフェンスを敷いたため国士大はパス回しから源内らのア

国士館大 36
2313
9 10
19 法政大

〔戦評〕立ち上がりから両チームともロングシュートを警戒してか1・5ディフェンスを敷いたため国士大はパス回しから源内らのア

得点 0 0 6 0 6 0 2 1 6 0 4 0 0 0
〔法〕浅中大神 田増中田安荻佐
(3) 19

G K F P (審・浅井本)

得点 0 0 6 3 1 2 4 3 7 5 1 4
〔国〕大田子 瀬洞木崎野 内里吉野
(1) 36

〔戦評〕序盤は両チームともシュ

シストで中里らのポストシユートが決まり、対する法大もパスからのずらしでのサイドシユートで応戦して前半を3点差とした。

後半に入ると、国士大の一方的な攻めで、源内のロングも決まり出し、全員が平均して得点し、圧倒した。

早稲田大 28 (1513 | 1011) 21 福岡大

〔戦評〕福岡大は序盤から早大のエースにマンツをつけて守ったが、それが裏目に出て前・後半ともディフェンスが広がり、大中、大村のカットイン、ポストシユートを許し、末岡、中山のシユートで対抗したが、1・2・3ディフェンスを敷く早大の前に後半攻め切れなかった。

早大は後半になると甲斐のカットインシユート、菰原の速攻で着実に点を稼ぎ、残り2分に退場者3人を出し、3人で守ることになったが、それまでの点差が8点まであったため楽に守り切った。

得点 0 0 6 0 0 2 1 2 6 1 3 0
大 橋 藤 斐 田 林 中 橋 村 原 平
早 高 須 甲 清 小 大 大 大 孤 鳥 原
得 0 0 9 1 0 6 5 3 3 1 0

G K F P (審・岡本) (水)

〔順位〕①早稲田大②福岡大③国

士館大④法政大

Ⅱ組

筑波大 20 (119 | 9 | 7) 16 日 大

〔戦評〕序盤は筑波大の3点リードで始まったが、8分過ぎからは一進一退の攻防となり、日本は渡辺、山田のシユートで追いつけば、筑波大は田中、吉田の強シユートとGK片山の好キープで互角の展開。後半に入っても、15分過ぎまでは取っては取り返すといった攻防が続いたが、日本は荒いディフェンスからのPTで流れが筑波大に傾き、吉田のシユートなどで点差を広げ、GK片山と厚いディフェンスで日本の追撃をふり切った。

得点 0 0 0 0 0 0 3 5 3 1 0 4
大 江 見 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀
日 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀 堀
〔大〕井山田井兼杉藤保中田田田
〔中〕大 23 (1013 | 1210) 22 大 大

G K F P (審・山本) (井)

〔戦評〕前半は最初から積極的な攻撃をする中部大に対して、大抵は1・5ディフェンスを敷き守ったが、ずらしからのパスのポスト、サイドシユートで加点され、13分に大抵大が退場者を出し、ず

らしを注意すれば長嶺の豪快なロングシユートを打たれ、福村のロングで対抗するが、2人目の退場者を出し苦しくなった。

後半に入っても中部大の勢いは止まらず、長嶺のロングシユートや長嶺にディフェンスを引きつけてのポスト落として加点していった。大抵大は後半20分から5点差を盛り返し1点差まで詰め寄ったが、中部大GK水谷の再三の美守の前にもう1点が追いつくことができなかった。

得点 0 0 2 0 5 4 3 0 3 0 4 1
大 方 永 基 田 村 岡 中 林 島 谷 合 原
〔大〕緒家梅村福西田 寺角河萩

G K F P (審・岡本) (水)

〔戦評〕日本は高い位置でディフェンスを敷き、大抵大のエース福村のロングシユートを防いだ、大抵大はボールをサイドへ回し勝負した。逆に大抵大は一線ディフェンスを敷いたが、日本の雨宮、西岡らのカットインプレーを止められずリードを奪われた。しかし前半残り5分ようやく福村のロングシユートで2本連続で決まり同点とした。

日 大 26 (1511 | 911) 20 大 大

〔戦評〕筑波大はセンター鎌田を中心に速いパス回しから中部大のディフェンスを広げ、ポスト、サイドシユートなどで点をあげていった。また、ディフェンスが低い位置の時は45度足田、田中がロングシユートを決めた。一方中部大は筑波大の高い位置のディフェンスに苦しみ、遠くから無理なシユートを打たれていた。それでもセンター長嶺のアシストパスによるポストシユートなどで何とか食

下がった。

後半に入ると、大抵大は頼みのサイドシユートが日本GK堀江の好守に阻止されだし点をあげられなくなった。ディフェンスは1・5の型に変え守ったが、日本両サイド山田、渡辺の回り込みからのシユートを止められず点差が広がっていった。最後まで大抵大は日本のカットインプレーに対して詰めが遅く、日本の攻撃が止められなかった。

後半に入ると、大抵大は頼みのサイドシユートが日本GK堀江の好守に阻止されだし点をあげられなくなった。ディフェンスは1・5の型に変え守ったが、日本両サイド山田、渡辺の回り込みからのシユートを止められず点差が広がっていった。最後まで大抵大は日本のカットインプレーに対して詰めが遅く、日本の攻撃が止められなかった。

得点 0 0 1 1 1 0 3 0 0 0 4 1
大 永 屋 基 田 村 岡 中 林 島 谷 合 原
〔大〕家大梅村福西田 寺角河萩

G K F P (審・森高) (山橋)

〔戦評〕筑波大はセンター鎌田を中心に速いパス回しから中部大のディフェンスを広げ、ポスト、サイドシユートなどで点をあげていった。また、ディフェンスが低い位置の時は45度足田、田中がロングシユートを決めた。一方中部大は筑波大の高い位置のディフェンスに苦しみ、遠くから無理なシユートを打たれていた。それでもセンター長嶺のアシストパスによるポストシユートなどで何とか食

下がった。

筑波大 26 (1313 | 810) 18 中部大

〔戦評〕筑波大はセンター鎌田を中心に速いパス回しから中部大のディフェンスを広げ、ポスト、サイドシユートなどで点をあげていった。また、ディフェンスが低い位置の時は45度足田、田中がロングシユートを決めた。一方中部大は筑波大の高い位置のディフェンスに苦しみ、遠くから無理なシユートを打たれていた。それでもセンター長嶺のアシストパスによるポストシユートなどで何とか食

下がった。

一瞬のきらめきと 積極果敢な チャレンジャー

誰もいないグラウンド、音のない体育館。そこにスポーツという魔法がかかると、一瞬のうちに興奮のつぼと化してしまう。

セノーも誇り高きチャレンジャー。より良質の素材を求め、より精巧な製品を生み出す努力と情熱は、世界中のプレイヤーの額に光る一粒の汗と同じです。

日本ハンドボール協会検定工場
Senoh®

本社/東京都千代田区神田司町2-7 ☎(03)292-5411

後半は長嶺を45度の位置に変え、ようやくロングシュートが決まりだし、3点差まで詰め寄った。そして17分、筑波大が2人の退場者を出しチャンスを迎えたが、GK沢井の好守にあいそれ以上差をつめることができず、逆にバスマスなどが目立ち、筑波大の速攻を受けて差を広げられてしまった。

得点	0	0	6	1	0	0	3	0	0	8	0
大谷原坂田	坂	前村儀	田	浅嶺	田						
〔中水〕	〔水石塩堀〕	同植興	内由長	長							
G K	F P	〔審〕	山	浅	本	井					
							P T	(4)		18	

〔順位〕	①筑波大	②中部大	③日本大	④大阪体育大
------	------	------	------	--------

3位決定戦

福岡大 30	〔119〕	〔141〕	27	中部大
〔戦評〕序盤は両チームとも堅さが見られたが、中部大は長嶺のロングシュート、塩坂のミドルシュートなどで押し気味に試合を進めれば、福岡大は末岡のミドルシュート、大坪のサイドで盛り返し、中部大の反則で多くのPTを決め逆転する。中部大も勝ちをあせった福岡大のミスにつけこんで堀田のサイドシュート、長嶺のロング				

シュートや塩坂の3連続得点で必死に追い上げるが、この日福岡大はGK林に変わって入った篠原の好キープに助けられて逃げ切った。

得点	0	0	6	6	2	1	0	2	0	7	1	2
大谷原坂田	坂	前村儀	田	浅嶺	田							
〔中水〕	〔水石塩堀〕	同植興	内由長	長								
G K	F P	〔審〕	山	清	水	本						
							P T	(1)		27		

決勝

早稲田大 24	〔131〕	〔81〕	21	筑波大
〔戦評〕	序盤、堅さの見える筑波大のディフェンスに対して早大は甲斐のロングシュート、カットインシュート、アシストによる篠原のロングシュートで15分までに9-3と大量リードし、このまいくかに見えたが、筑波大も甲斐			

得点	0	0	4	1	1	0	2	3	4	2	0
大井山田	井	兼杉	藤保	中田	田						
〔筑波〕	〔沢久〕	〔新津村〕	〔加宜田〕	〔正吉〕	〔鎌〕						
G K	F P	〔審〕	山	浅	本	井					
							P T	(2)		21	

を注意してディフェンスを固め、速攻の連続7ゴールで一挙に追いついた。
しかし、後半早大は始めの5分で逆転、その後は早大・大村、大橋のミドルシュート、筑波大・正田のカットインシュート、吉田のサイドシュートなどで一進一退の攻防を繰り返したが、12分と13分

女子

予選リーグ

▼A組

東女体大 35	〔181〕	〔7〕	東海大
大女体大 34	〔191〕	〔4〕	中京女大
東女体大 28	〔131〕	〔5〕	中京女大
大女体大 28	〔141〕	〔4〕	東海大

東女体大 38	〔231〕	〔10〕	東海大
中京女大 24	〔131〕	〔6〕	東海大

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

に筑波大に連続して退場が出たため3点差がつき、逆転を狙う筑波大は田中、正田のロング、ミドルシュートで追い上げ、残り30秒で1点差まで詰め寄るが、早大GK高橋の好キープに何度もシュートを封じられ、結局最後まで逆転することができず、早大の優勝となった。

▼C組

日女体大 24	〔131〕	〔8〕	16	大教大
福岡大 33	〔161〕	〔9〕	13	大教大

日女体大 24	〔121〕	〔8〕	14	千明短大
福岡大 23	〔131〕	〔11〕	21	日女体大

大教大 27	〔141〕	〔12〕	20	千明短大
--------	-------	------	----	------

〔順位〕	①福岡大	②日本女子体育大	③大阪教育大	④千葉明德短期大
------	------	----------	--------	----------

日女体大 35	〔181〕	〔7〕	東海大
大女体大 34	〔191〕	〔4〕	中京女大
東女体大 28	〔131〕	〔5〕	中京女大
大女体大 28	〔141〕	〔4〕	東海大

東女体大 38	〔231〕	〔10〕	東海大
中京女大 24	〔131〕	〔6〕	東海大

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------

福岡大 37	〔221〕	〔6〕	17	千明短大
--------	-------	-----	----	------



大阪シャンピアホテル
〒530 大阪市北区南扇町6-23 代表 ☎06(312)5151

● 交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分
大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大塚駅から扇町まで徒歩12分

● 料金(税・サ込)
シングルA..... 6,100円
シングルB..... 6,500円
シングルC..... 6,700円
ダブル..... 11,000円
ツイン..... 10,600円



名古屋シャンピアホテル
〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表 ☎052(203)5858

● 交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分

● 料金(税・サ込)
シングルA..... 6,500円
シングルB..... 6,900円
ツイン・ダブル..... 11,000円
トリプル..... 14,000円

● 名古屋シャンピアホテル ● 青森シャンピアホテル ● 大阪シャンピアホテル ● 防府シャンピアホテル ● 姉妹ホテル KOLON HOTEL 福岡、豊州(キャプテン) 東京事務所 ☎03-566-7571

★ 予約センター
東京予約センター ☎03(583)1001
名古屋予約センター ☎052(203)5489

大阪予約センター
北海道予約センター<札幌> ☎011(232)3731
東北予約センター<仙台> ☎022(224)0078

北陸予約センター<金沢> ☎0762(40)0890
防府予約センター ☎0835(21)6601
九州予約センター ☎092(714)3581

東学大24 [15|9|5] 13中京大
〔順位〕①日本体育大②天理大③
東京学芸大④中京大

▽D組

武庫川女子34 [15|9|3|5] 8岩手大

筑波大58 [27|31|4|6] 10福教大

武庫川女大44 [26|18|4|7] 11福教大

筑波大55 [29|26|0|3] 3岩手大

筑波大25 [12|13|10|13] 23武庫川女大

福教大27 [16|11|5|9] 14岩手大

〔順位〕①筑波大②武庫川女子大
③福岡教育大④岩手大

準決勝リーグ

▽I組

東女体大29 [13|16|9|7] 16日女体大

〔戦評〕前半、東女体大は田鹿、日比野の両エースを中心に得点を重ねていった。一方日女体大も45度の中野のカットイン、ポストへのパスで食い下がったが、東女体大の厚いディフェンスに反則やパスミス誘われ、速攻により点差を広げられた。後半に入ると、東女体大は田鹿、日比野を中心とし

たセットオフエンスと速攻で加点し、日女体大もポストプレーを中心に反撃するが、前半の点差が響き、東女体大が勝利を収めた。

得点00310400142001
焼井出島原野田辺子村原川
日尾宇井北竹中増渡真三柳湯野

G K F P (審・大園和) PT (3) 16

〔戦評〕序盤は福岡大・竹馬、大田大・松本の両GKの好守が目立ち、両チームともなかなか点をあげることができない。しかし、大田大は中盤過ぎからロング、サイドと確実にシュートが決まりだし点差が広がっていった。

後半に入っても、大田大は池田を中心としたセットプレーで得点を重ねていった。一方福岡大は、

得点0042603000000
馬谷田花村原垣斐屋林坂下
福岡馬谷田花村原垣斐屋林坂下

G K F P (審・浅田沼) PT (4) 15

〔戦評〕序盤は福岡大・竹馬、大田大・松本の両GKの好守が目立ち、両チームともなかなか点をあげることができない。しかし、大田大は中盤過ぎからロング、サイドと確実にシュートが決まりだし点差が広がっていった。

後半に入っても、大田大は池田を中心としたセットプレーで得点を重ねていった。一方福岡大は、

得点0042603000000
馬谷田花村原垣斐屋林坂下
福岡馬谷田花村原垣斐屋林坂下

G K F P (審・浅田沼) PT (4) 15

〔戦評〕序盤は福岡大・竹馬、大田大・松本の両GKの好守が目立ち、両チームともなかなか点をあげることができない。しかし、大田大は中盤過ぎからロング、サイドと確実にシュートが決まりだし点差が広がっていった。

後半に入っても、大田大は池田を中心としたセットプレーで得点を重ねていった。一方福岡大は、

得点0042603000000
馬谷田花村原垣斐屋林坂下
福岡馬谷田花村原垣斐屋林坂下

G K F P (審・浅田沼) PT (4) 15

速攻でのパスミスが目立ち、点差を縮めることができなかった。しかし、残り6分からGK竹馬の好守からの速攻で得点をあげてから動きが良くなり1点差まで詰め寄ったが、残り30秒、大田大の堀内がポストシュートを決め、そのま

得点00410200041000
津井出島原野田辺子村原川
日尾宇井北竹中増渡真三柳湯野

G K F P (審・田原伯) PT (1) 12

〔戦評〕最初から大田大は池田、飯田のフエイントからカットインプレーを中心にそこからのサイドへのずらしで得点を重ねていった。また、大田大のディフェンスもボールに対しての詰めが速く、日女体大は遠くからの中野の苦しいシュートが多くなり点差が次第に広がっていった。

しかし、後半の10分頃から大田大のカットインに対し日女体大も速い詰めで対応するようになり、大田大はチャージの反則が目立つようになり、互角の攻防が続いた。しかし、前半の大差が響き、大田大が逃げ切った。

得点00410200041000
津井出島原野田辺子村原川
日尾宇井北竹中増渡真三柳湯野

G K F P (審・田原伯) PT (1) 12

〔戦評〕最初から大田大は池田、飯田のフエイントからカットインプレーを中心にそこからのサイドへのずらしで得点を重ねていった。また、大田大のディフェンスもボールに対しての詰めが速く、日女体大は遠くからの中野の苦しいシュートが多くなり点差が次第に広がっていった。

しかし、後半の10分頃から大田大のカットインに対し日女体大も速い詰めで対応するようになり、大田大はチャージの反則が目立つようになり、互角の攻防が続いた。しかし、前半の大差が響き、大田大が逃げ切った。

得点00410200041000
津井出島原野田辺子村原川
日尾宇井北竹中増渡真三柳湯野

G K F P (審・田原伯) PT (1) 12

〔戦評〕最初から大田大は池田、飯田のフエイントからカットインプレーを中心にそこからのサイドへのずらしで得点を重ねていった。また、大田大のディフェンスもボールに対しての詰めが速く、日女体大は遠くからの中野の苦しいシュートが多くなり点差が次第に広がっていった。

しかし、後半の10分頃から大田大のカットインに対し日女体大も速い詰めで対応するようになり、大田大はチャージの反則が目立つようになり、互角の攻防が続いた。しかし、前半の大差が響き、大田大が逃げ切った。

得点00410200041000
津井出島原野田辺子村原川
日尾宇井北竹中増渡真三柳湯野

G K F P (審・田原伯) PT (1) 12

東女体大34 [15|19|9|3] 12福岡大
〔戦評〕序盤から東女体大は両45度田鹿、日比野のロングシュートを中心にそれに合わせたポスト、サイドシュートで着々と得点を重ねていった。福岡大は東女体大の高いディフェンスに苦しみ、ボールを外へ外へと回すが、パスミスが多くなりなかなかシュートが打てない。また、苦しまぎれに打ったシュートを逆に速攻にもつていかれ点差は広がる一方になった。

後半の中盤あたりからようやく福岡大・新坂のサイドシュートなどが決まるようになったが、東女体大も田鹿、日比野がディフェンスを引き寄せ、ポストシュートなどで点を加え、大差をつけ福岡大を破った。

得点0010200200331
馬谷田花村原垣斐屋林坂下
福岡馬谷田花村原垣斐屋林坂下

G K F P (審・浅田沼) PT (0) 12

〔戦評〕序盤から東女体大は両45度田鹿、日比野のロングシュートを中心にそれに合わせたポスト、サイドシュートで着々と得点を重ねていった。福岡大は東女体大の高いディフェンスに苦しみ、ボールを外へ外へと回すが、パスミスが多くなりなかなかシュートが打てない。また、苦しまぎれに打ったシュートを逆に速攻にもつていかれ点差は広がる一方になった。

後半の中盤あたりからようやく福岡大・新坂のサイドシュートなどが決まるようになったが、東女体大も田鹿、日比野がディフェンスを引き寄せ、ポストシュートなどで点を加え、大差をつけ福岡大を破った。

得点0010200200331
馬谷田花村原垣斐屋林坂下
福岡馬谷田花村原垣斐屋林坂下

G K F P (審・浅田沼) PT (0) 12

〔戦評〕序盤から東女体大は両45度田鹿、日比野のロングシュートを中心にそれに合わせたポスト、サイドシュートで着々と得点を重ねていった。福岡大は東女体大の高いディフェンスに苦しみ、ボールを外へ外へと回すが、パスミスが多くなりなかなかシュートが打てない。また、苦しまぎれに打ったシュートを逆に速攻にもつていかれ点差は広がる一方になった。

後半の中盤あたりからようやく福岡大・新坂のサイドシュートなどが決まるようになったが、東女体大も田鹿、日比野がディフェンスを引き寄せ、ポストシュートなどで点を加え、大差をつけ福岡大を破った。

得点0010200200331
馬谷田花村原垣斐屋林坂下
福岡馬谷田花村原垣斐屋林坂下

G K F P (審・浅田沼) PT (0) 12

〔戦評〕序盤から東女体大は両45度田鹿、日比野のロングシュートを中心にそれに合わせたポスト、サイドシュートで着々と得点を重ねていった。福岡大は東女体大の高いディフェンスに苦しみ、ボールを外へ外へと回すが、パスミスが多くなりなかなかシュートが打てない。また、苦しまぎれに打ったシュートを逆に速攻にもつていかれ点差は広がる一方になった。

後半の中盤あたりからようやく福岡大・新坂のサイドシュートなどが決まるようになったが、東女体大も田鹿、日比野がディフェンスを引き寄せ、ポストシュートなどで点を加え、大差をつけ福岡大を破った。

日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)

タチカラ ヌムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。



タチカラ株式会社

東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌



〔戦評〕前半、武庫川女大は日体

大の厚いディフェンスに攻めあぐみ、なかなか得点をあげることができなかった。その間に日体大は速攻を中心に着実に点差を広げていった。しかし、武庫川女大も前半残り10分ぐらいから動きが良くなり、キャプテン城のサイド、ミドルシュートなどで差を詰めていった。

後半に入ると日体大にミスが目立ち始め、逆に武庫川女大が速攻を中心に点を重ね、後半14分、岸間のポストシュートでついに追いついた。しかし、後半残り10分ぐ

らいから日体大のディフェンスが堅くなり、武庫川女大はまた攻めあぐみ、日体大は速攻で武庫川女大を突き放し、そのまま逃げ切った。

得000144432000
川部瀬間 田崎村原秋井
〔武庫〕前渡河 米塩西篠千永

G K F P (審・森高橋) P T

〔戦評〕立ち上がりから両チームとも加点してい

き、筑波大は林のカットインシュートや楠のサイドシュートを打てば、天理大は牧村

のロング、松崎のサイドなどを打ってきたが、再三の天理のシュートも筑波GK吉村の好守に阻まれ点差はさらに広がる。

後半に入ると、筑波大は逆速攻からの磯山、相川らがシュートを打ち、点差は近づくが、天理大は退場者が続出し、なかなか点が取れず、GK山中の好守も筑波大の厚いディフェンスとGK吉村の好守の前には影にかくれてしまった。

得030004211001
江浦水田村崎島中田本
〔天理〕山 藤三清堀牧松鹿田津橋

G K F P (審・佐田伯原) P T

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

武庫川も後半少しずつ盛り返し西村のポストに回してのパス回しからのずらしや、マンツーマンをかかわしての西村のロングなどで残り4分に22-22の同点に追いついたが、勢いのある天理大は武庫川

天理大24 (91-121) 23武庫川女大

得001331621561
吉樫鋤相山和磯大白中柳

天理大24 (91-121) 23武庫川女大

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

女大をふり切って勝った。

得00202401194
川部多 本崎村原秋井
〔武庫〕前渡河 奥塩西木篠千永

G K F P (審・佐田伯原) P T

〔戦評〕両チームともセンターから切り崩してサイドへのずらし、カットインと似たような攻めをした。後半始まってすぐ、大体大は日体大の市来にマンツーマンをつけ日体大のパス回しを封じ、またGK松本の好守もあり差をつけた。しかし、日体大もGKを小松崎から松永に変え、相手のシュートを止め、そこから速攻で攻める形に変えてきた。また、後半20分頃から大体大はシュートが甘くなり始め、日体大の速攻に連続してあい、遂に送転された。残り3分、日体大は勝利を意識しだし、簡単なミスが出て大体大に1点差まで迫られたが、そのまま試合終了の笛が鳴った。

筑波大25 (169-1012) 22日体大

〔戦評〕日体大は市来を軸に大間新田のパスで加点していき、一方筑波大はパス回しから林、中山のロングで対抗し、後半15分まではほぼ互角であったが、16-16となり、日体大はGK松永をフイールドに送り、7人攻撃を試みるが逆にミスを犯し、逆転される。そこで流れが筑波大に傾き、林、中山のロングシュートも冴え、GK吉村の好守に支えられ、日体大をふり切った。

得0025400002450
永崎来間館田見島林玉吉寺
〔日体〕松小市大外新人小兒竹福城

G K F P (審・森高橋) P T

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

武庫川も後半少しずつ盛り返し西村のポストに回してのパス回しからのずらしや、マンツーマンをかかわしての西村のロングなどで残り4分に22-22の同点に追いついたが、勢いのある天理大は武庫川

天理大24 (91-121) 23武庫川女大

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

3位決定戦

天理大④武庫川女子大

日体大21 (111-910) 19大体大

〔戦評〕両チームともセンターから切り崩してサイドへのずらし、カットインと似たような攻めをした。後半始まってすぐ、大体大は日体大の市来にマンツーマンをつけ日体大のパス回しを封じ、またGK松本の好守もあり差をつけた。しかし、日体大もGKを小松崎から松永に変え、相手のシュートを止め、そこから速攻で攻める形に変えてきた。また、後半20分頃から大体大はシュートが甘くなり始め、日体大の速攻に連続してあい、遂に送転された。残り3分、日体大は勝利を意識しだし、簡単なミスが出て大体大に1点差まで迫られたが、そのまま試合終了の笛が鳴った。

筑波大25 (169-1012) 22日体大

〔戦評〕日体大は市来を軸に大間新田のパスで加点していき、一方筑波大はパス回しから林、中山のロングで対抗し、後半15分まではほぼ互角であったが、16-16となり、日体大はGK松永をフイールドに送り、7人攻撃を試みるが逆にミスを犯し、逆転される。そこで流れが筑波大に傾き、林、中山のロングシュートも冴え、GK吉村の好守に支えられ、日体大をふり切った。

得0011100066700
中本田藤中垣内田田嘉本本
〔大体〕田松池加田飛堀榊飯比森山

G K F P (審・浅沼) P T

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

武庫川も後半少しずつ盛り返し西村のポストに回してのパス回しからのずらしや、マンツーマンをかかわしての西村のロングなどで残り4分に22-22の同点に追いついたが、勢いのある天理大は武庫川

天理大24 (91-121) 23武庫川女大

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

〔順位〕①筑波大②日本体育大③

決勝

東女体大25 (1411-107) 17筑波大

〔戦評〕筑波大は序盤からエース中山、林の動きが悪く、ロングシュートが決まらず、そこから東女体大の速攻を受け苦しい試合が続いた。途中、何度かフロウターを変えて流れを変えようとしたが、東女体大GK村山の好守もあり、どうしても東女体大ベースだった。東女体大は速攻に加え、セットプレーでもセンター藤井のカットインを中心に日比野、田鹿の両エースのロングシュートで得点していった。しかし、点差があるため、あせりからパスミスが目立つようになり、東女体大の速攻で点差を再び広げられ、そのまま東女体大が優勝を決めた。

得0024404000223
村山崎川崎田山塚鳥山内
〔筑波〕吉樫鋤相山和磯大白中柳

G K F P (審・森高橋) P T

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

武庫川も後半少しずつ盛り返し西村のポストに回してのパス回しからのずらしや、マンツーマンをかかわしての西村のロングなどで残り4分に22-22の同点に追いついたが、勢いのある天理大は武庫川

天理大24 (91-121) 23武庫川女大

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

〔戦評〕序盤から天理大は、武庫川女子のエース西村にマンツーマンをつかせた1・5ディフェンスで相手の攻撃をよく防ぎ、守りからの速攻で加点して前半20分頃から元気のいい武庫川にたたみかける攻めで4点差とした。

〔順位〕①筑波大②日本体育大③



'88ソウルオリンピック 公式試合球

FOR THE 1988 SEOUL OLYMPIC GAMES



© 1983 S.L.O.C. J.S.M.O.4 TM

日本で最初の国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認球、モルテンハンドボール。その独特のリブ形状とパネル間の段差による“32面体ノンスリップ構造”で、確かな手がかりをつくり上げ、世界中のハンドボーラーから高い信頼を集めています。そしていま、新たに '88ソウルオリンピックの公式試合球に決定/その真価を発揮します。

molten®

株式会社 **モルテン**

東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7 〒130 ☎(03)625-7581代
大阪・名古屋・福岡・広島・札幌・ロサンゼルスU.S.A.・デュッセルドルフW.G.

果樹園と高原と。 山梨の自然のおいしさを お菓子にたくして、日本全国へ。



Châtaisé

株式会社シャトレーゼ

山梨県東八代郡中道町下曾根3440-1 〒400-15
電話(0552)66-5151(大代)

第13回日本リーグ前期

2部

男子

10月29日(土)

愛知・知立福祉体育館

トヨタ車体 24
[1212 | 811] 19 豊田自動織機

〔戦評〕試合開始直後は両チーム共ボールが今一つ手につかず、また、車体の初得点が前半6分と両チーム共スロースタートの試合となった。前半は1点差で折り返すが、後半15分までは2点差のシーソーゲームが続いた。後半10分頃より車体の速攻が決まり出し、そのまま逃げ切った。

得00835111001000
織機田村江畑野山内嶺田城田浦
〔柴中蟹奥大諫山笹新大鎌杉〕
G K F P (審・岩橋) 大和田
(3) P T (4) 19

〔体〕田林積野田島長井野山上合
〔車〕宮村吉長養藤松平久井河
得002210043500000
トヨタ 26
[1214 | 168] 24 中村荷役
自動車

〔戦評〕両チーム共2部では1、2を争う大型チーム。中村荷役は飯田、三尾、トヨタは坂口、松尾と目を見はるばかりの巨人同士がぶつかり合ったが、立ち上がり早々から若いトヨタのスピードが勝り、動きの鈍い中村荷役を圧倒した。その後、終盤の中村荷役の追い上げにもあわてることがなく、余裕をもって振り切った。

得0053062300032
村橋塚尾田村木城本戸田田口
〔高飯三塚中大下松堀池飯坂〕
G K F P (審・杉本) 藤本
(3) P T (2) 24

〔自動車〕西森井田井江西口尾本上元
得00363500440001
〔中富香川酒堀中坂松石村杉〕
G K F P (審・工藤) 藤本
(2) P T (3) 26

三景 30
[1515 | 158] 23 日鉄建材
〔戦評〕前半20分過ぎまで両チーム共ボールが手につかず、シーソーゲームを繰り返したが、三景の速攻が決まり始め、前半を7点差

で終了した。後半の立ち上がり、日鉄建材・上山のシュートで盛り返しを見せたが、前半の得点差が大きく、三景が余裕をもって逃げ切った。

得00531432041
鉄上村本口辺山山原川本嶋
〔川〕霜杉山池上外清古若玉
G K F P (審・川合) 田合
(0) P T (1) 23

〔景〕川橋村士川藤谷山原池
得00386902002
〔三北長田福西齊大小赤〕
G K F P (審・川合) 田合
(1) P T (0) 30

本田技研 29
[1217 | 119] 20 大阪ガス
〔戦評〕若さとパワーに勝る本田熊本は、立ち上がりから山口、川崎、荒田らが快調にとがし、はつらつとしたプレーで着々と加点。対する大阪ガスも小柄ながらも中村、藤田らのスピード、テクニクで反撃するが、単発となり、差は広がっていった。本田熊本の終始変わらぬ走りのプレーは、新ルールの狙いを十分に生かしたものであり、大阪ガスはこれについて行くことが出来なかった。

〔熊本〕尾本野田代村中口崎野伯野
得00000633322039
〔中宮矢荒三松田山川長佐長〕
G K F P (審・木和) 橋本
(5) P T (0) 28

得020644040
ガス田野志村田谷坂田
〔福〕奥竹中長水日藤 森
(0) P T (2) 20

〔熊本〕尾本野田代村中口崎野伯野
得0033234367010
〔中宮矢荒三松田山川長佐長〕
G K F P (審・渡辺) 楓
(2) P T (0) 29

10月30日(日)
愛知・蒲郡体育センター体育館
中村荷役 28
[1612 | 199] 28 本田技研
〔戦評〕超ベテランで固めた中村荷役は、老成な試合運びで立ち上がりスルスルと4-1までリード。いったん追いつかれたものの、シーソーゲームの中から機を見たコンビプレーで若い本田熊本のデフエンスをほんろう、終盤抜け出して3点差で前半を終了。後半も好調を続ける中村荷役は8分過ぎ17-10と差を広げたが、粘る本田熊本は、長野、佐伯を投入して必

得0041107032830
村橋塚尾田村木城本戸田田口
〔高飯三塚中大下松堀池飯坂〕
G K F P (審・岩橋) 大和田
(0) P T (5) 28

〔熊本〕尾本野田代村中口崎野伯野
得00000633322039
〔中宮矢荒三松田山川長佐長〕
G K F P (審・木和) 橋本
(5) P T (0) 28

死の立て直しを図り、24分に24-24の同点に追いつく。しかし、中村荷役も池田の速攻で連続ゴール、勝負あったかに見えたが、本田熊本が執念でラスト8秒、長野のペナルティスローで追いつき、引き分けた。

トヨタ 43
[2221 | 147] 21 大阪ガス
〔戦評〕高さに勝るトヨタは開始30秒、坂口の打点からのロングシュートで先行、香井、酒井らのスピードあふれるプレーで加点していった。大阪ガスも細かいパスワークで対抗するものの、トヨタの高い壁に阻まれ、前半で14点差と大きく差がついた。後半になってトヨタの勢いは変わらず、若手を繰り出す余裕を見せながらも差を広げ、43-21と実力の差を見せた。

得0263801110
ガス田野志村田谷坂田
〔福〕奥竹中長水日藤 森
(2) P T (0) 21

〔自動車〕西森井田井江西口尾本上元
得00115570723113
〔中富香川酒堀平坂松石村杉〕
G K F P (審・今井) 田本
(0) P T (4) 44

三景 34
[1519 | 1610] 26 豊田自動織機
〔戦評〕立ち上がりから三景の動きは軽快で速攻を連発、GK北川の好守もあって6分過ぎまでに6

0と圧倒した。その後自動織機も追いかけてはしたが、この間の無得点がありにも大きく、前半は19-10の9点差。後半は自動織機サイド陣が踏んばりを見せ、一進一退の展開となり、残り5分には30-24と盛り返したものの、余裕の三景は落ち着いたプレーで白星を重ねた。

始め、6点差で前半を終了した。後半、日鉄建材も動きが良くなり粘りを見せたが、地方に勝る車体が控えの選手を入れる余裕を見せ勝利をものにした。

11月5日(土)

京都・八幡市民体育館

トヨタ 33 (1320-713) 20日鉄建材
自動車 33 (1320-713) 20日鉄建材

〔戦評〕前半立ち上がり、両チームとも動きが固く、シュートミスが多かったが、5分過ぎから次第にトヨタ自動車ガリズムをつかみ始め、じりじりと点差を広げる。日鉄建材もエース上山を中心に懸命に反撃するがシュートミスが多く、点差を縮めることができない。後半に入っても同様の展開で、トヨタ自動車余裕をもつてふり切った。

トヨタ 30 (1515-109) 19日鉄建材
〔戦評〕前半、両チーム共単調な攻めを繰り返し、決め手がなく、どちらが先に調子に乗るかであった。ようやく20分過ぎより車体のコンビネーションプレーが決まり

得点 0 0 3 1 4 5 1 2 0 3
〔日鉄〕 村上本口 辺山 原川 本嶋
〔川〕 霜杉 山池 上清 古若玉

G K F P (審・今井 藤)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

まではほぼ互角の展開だったが、中盤から豊田のシュートが決まらず、逆にディフェンスが荒くなつてPTを確実に決めた本田技研熊本が着々と加点、前半で14-6と大差をつけて勝負を決めた。

トヨタ 26 (1511-1212) 24中村荷役
〔戦評〕立ち上がり両チームともシュートが決まらず、実に5分を過ぎて両チームともに無得点。トヨタ車体・荻田がようやく5分過ぎに初得点。しかし、中村は得点できず、せっかく得たペナルティスローを失敗するなどのまずい展開で、初得点は10分。だが、ここから共に一進一退の点の取り合いを見せ、前半を終ってみれば12-11と中村の1点リードであった。後半に入っても、終始中村が先手をとっていたが、18分過ぎになつてようやく20-20の同点に追いつき、24分過ぎに逆転した車体が、ようやく逃げ切った。

得点 0 0 1 8 2 5 3 6 0 1 0 3
〔熊本〕 尾本 野田 代村 中口 崎野 伯野
〔中〕 宮矢 荒三 松田 山川 長佐 長

G K F P (審・岸 佐本)

三景 31 (1615-1214) 26大阪ガス
〔戦評〕前半の立ち上がりは三景ベース、12分には9-4とリードを奪う。しかし、中盤を過ぎてみ

得点 0 3 0 2 5 4 7 4 1
〔ガ福〕 野志 村田 谷坂 田砂
〔中〕 奥竹 中長 水田 藤高

G K F P (審・丸 奥谷)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

G K F P (審・丸 奥谷)

〔戦評〕スタートは両チーム共に動きが固く、得点の動きがなく、11-10と三景リードで前半終了、後半は一転トヨタベースでスタート、坂口を中心に得点を重ね、17-14とトヨタのリードで10分経過。その後三景も積極的に攻めるが、トヨタの厚い守りがものをいい、得点が伸びず、得点力に勝るトヨタベースのままゲームセット。

トヨタ 27 (1710-911) 20三景
〔戦評〕前半立ち上がりは、ともにスロースタート、豊田自織は初得点が6分過ぎ。それでも15分頃

得点 0 0 2 4 0 11 5 8 0 1 0 0
〔三景〕 川橋 村藤 永士 川藤 谷山 原池
〔北〕 長田 近福 福西 齊大 小本 赤

G K F P (審・岸 佐本)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

G K F P (審・岸 佐本)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

G K F P (審・岸 佐本)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

〔戦評〕前半から本田熊本のベースで、地力の差でそのまま押し切つたようなゲームであった。前半10分過ぎから本田熊本の川崎が連

トヨタ 27 (1710-911) 20三景
〔戦評〕前半立ち上がりは、ともにスロースタート、豊田自織は初得点が6分過ぎ。それでも15分頃

得点 0 0 2 4 0 11 5 8 0 1 0 0
〔三景〕 川橋 村藤 永士 川藤 谷山 原池
〔北〕 長田 近福 福西 齊大 小本 赤

G K F P (審・岸 佐本)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

G K F P (審・岸 佐本)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

G K F P (審・岸 佐本)

〔車体〕 田林 積野 田島 長井 野山上 合
〔車〕 宮村 吉長 荻藤 松平 久保 井河
得点 0 0 7 2 5 7 1 3 2 2 1 0

続8得点を決め、あとは安定した試合運びで快勝した。

トヨタ 25 1015 109 19 大阪ガス

〔戦評〕車体の長崎の調子が良く10分で5-4、15分で8-4と加し、車体が主導権を取ったゲーム展開。一方大阪ガスも奥野を中心にベースを取り戻し、後半は一進一退の展開となり、15-9で前半終了。後半はスピーディなプレ-の連続で追いつ追われつの展開となり、その中で大阪ガスがベ-スをつかみ始め、15分で15-19と4点差に追い上げてきた。しかし前半の得点差が重く、25-19でタイムアップ。

得0 2 1 2 4 6 2 2 0
ス田 野志村田田坂田
〔福〕奥竹中長水田藤 森

G K F P (審・吉本) P T (4) 19

〔車体〕田林統野田島長井野山原上
得〔宮〕村吉長袁君藤松平久萩井
0 0 3 9 1 5 1 5 0 1 0 0 0

中村荷役 27 1215 1110 21 豊田

〔戦評〕中村荷役は現役復帰した飯田のゲームメイクで要所を押さえ、若手をまとめながら自軍ベ-スのゲーム展開を進めた。自動織機も奥畑、諫山を中心とし、よく攻めたが、今一步のところで追上げがならず、4敗目を喫した。

得0 0 4 6 1 4 3 0 0 0 0 3
機織 田村江畑野山内領田城田浦
〔柴〕中蟹奥大諫山笹新大鎌杉

G K F P (審・藤本) P T (2) 21

〔中村〕井塚尾田村木城本戸田田口
得〔石〕飯三塚中大下松堀池飯坂
0 0 8 3 0 4 1 2 3 3 2 2 2

11月12日(土) 大阪ガス 24 1113 129 21 日鉄建材

〔戦評〕前半はやや大阪ガスが押し気味で、一進一退を繰り返して折り返した。後半は日鉄建材がエ-スを中心に追い上げ、1点差まで追いつけるが、ミスが目立ち、結局大阪ガスが逃げ切った。

得0 3 4 0 8 1 1 0 4 0
鉄上 村本口辺山山原川本嶋
〔日〕川 霜杉山池上外清古若玉

G K F P (審・塩谷) P T (1) 21

〔田〕野志村田谷坂田
得〔福〕奥竹中長水田藤 森
0 5 0 5 6 6 0 1 1

11月13日(日) 宮城・宮城県スポーツセンター

三 景 21 1110 129 21 中村荷役

〔戦評〕立ち上がりから中村荷役は気迫あるプレーでリードしたが、中盤からジリジリと三景が追いつけ、前半10-9で中村荷役がリードした。

後半、中村荷役の三尾のロング、三景・斉藤の活躍で最後まで追いつ追われつのゲーム展開であったが、残り5秒、三景・斉藤の得点で引き分けた。

得0 0 4 5 0 5 0 0 0 4 2 1
〔中村〕井塚尾田村木城本戸田田口
〔石〕飯三塚中大下松堀池飯坂

G K F P (審・照守井屋) P T (3) 21

〔三景〕村藤永士藤谷山原池橋
得〔北〕田近福福齊太小木赤長
0 3 3 2 7 6 0 0 0 0 0 0 0

11月20日(日) 福岡・北九州市立総合体育館

本田技研 19 118 712 19 トヨタ

〔戦評〕本田熊本は厚いディフェ-ンスとGKの好守により速攻、カ-ットインで得点を重ねる。一方トヨタ車体は、本田熊本の攻撃ミスにより徐々に得点し、一進一退の攻防を続け、前半は車体が4点のリードで折り返す。後半開始10分で本田熊本は相手チームのミスにより同点に追いつき、その後双方共激しい攻防を繰り返すが、決定打が出ず、引き分けて終了する。

得0 0 1 6 3 3 3 3 0 0 0 0
得〔車〕田林統野田島長井野山原上
〔宮〕村吉長袁君藤松平久萩井

G K F P (審・前田原) P T (3) 19

〔本〕尾本野田代村中口崎野伯野
得〔熊〕中宮矢荒三松田山川長佐長
0 0 0 5 3 1 2 5 3 3 0 0 0

11月23日(木) 愛知・豊田市体育館

トヨタ 32 1814 8 15 豊田
自動織機
〔戦評〕トヨタ自動車のディフェ-ンスが織機・奥畑、山内のロング陣を封じ込め、一方的な試合となった。トヨタは川田の10得点をはじめ、堀江のサイド、香井の速攻などで着々と加点、織機は諫山の老練なシュートで追ったものの及ばなかった。

トヨタの新人GK富森の堅実、果敢なゴールキーピングが光った。

〔織機〕田村江畑野山内領城浦
得〔柴〕中蟹奥大諫山笹大杉
0 0 3 2 0 5 4 0 0 0 1

G K F P (審・渡辺) P T (1) 15

〔自動織機〕西森井田井江野坂口村尾元
得〔中〕富香川酒堀平白坂田松杉
0 0 5 10 0 4 2 2 5 2 1 1

11月26日(土) 愛知・名古屋体育館

トヨタ 25 1114 1110 21 トヨタ

〔戦評〕前半、両チーム共シュ-トミスが目立っていたが、トヨタ自動車・坂口、川田のロングシュ-トが入り出したが、トヨタ車体・君島のロングシュ-トで得点を重ねていたが、14-10でトヨタ自動車がリードした。

後半に入り、立ち上がり荒っぽいプレーが目立ち、トヨタ車体の警告が多かった。前半のリードが大きく、そのままトヨタ自動車が逃げ切った。

得0 0 0 6 0 7 1 7 0 0 0 0
〔車体〕田林統野田島長井野山原上
〔宮〕村吉長袁君藤松平久萩井

G K F P (審・稲口石) P T (1) 21

〔自動織機〕西森井田井江西野坂口尾元
得〔中〕富香川酒堀中平白坂松杉
0 0 6 6 2 2 1 0 0 0 7 3 0

三 景 28 1612 149 23 本田技研

〔戦評〕前半、三景は富士を中心とした攻撃パターンで着実に得点を重ねていくが、本田熊本も山口三代で応戦する。後半に入り、近藤の好リードから波に乗った三景が本田熊本の追撃を許さずに逃げ切った。

得000131155124
〔熊〕尾本野田代村中崎野伯野
〔中〕坂矢荒三松田山川長佐長
(3) 23

G K F P (審・岩橋) P T
〔景〕川橋村藤永士川藤谷山原池
〔三〕北長田近福福西齊大小木赤
得00430113400300
(6) 28

豊田 24 〔6181013〕 23 大阪ガス
自動織機

〔戦評〕前半立ち上がり、両チーム共コンビネーションプレーが目立ち、追いつ追われつの展開だったが、自動織機・山内のシュートが決まり出し、5点リードして前半を終了。後半、大阪ガス GK 福田の好守が目立ち、自織のシュートミスが多く、大阪ガスがコンビネーションなどで着実に得点を重ねた。しかし、前半の5点差が大きき、1点差で豊田自動織機が逃げ切った。

得050167220
〔ス〕田 野志村田谷坂田 森
〔ガ〕福 奥竹中長水田藤
(5) 23

G K F P (審・松ケ谷) P T
〔機〕田村江畑野山内嶺城田浦
〔織〕柴中蟹奥大諫山笹大鎌杉
得00642460200
(2) 24

中村荷役 31 〔15161810〕 18 日鉄建材

〔戦評〕立ち上がりから中村荷役はスピード感あふれる攻撃で全員がよく走り、大木、松本らのミドル、ロングシュートで得点する。対する日鉄建材も、上山が一人気を吐くもののなかなかリズムをつかめず、結局、終始積極的な攻撃が目立った中村荷役が圧勝した。

得00152801110
〔鉄〕嶋上本口辺山山原川本
〔日〕岩川杉山池上外清古若
(2) 18

G K F P (審・川島) P T
〔村〕井坂尾田村木成本戸田田口
〔中〕石飯三塚中大下松堀池飯坂
得0063163414330
(4) 31

11月27日(日)
愛知・名古屋体育館
トヨタ 26 〔13131813〕 21 本田技研
自動織機

〔戦評〕前半立ち上がり、トヨタ自動車・川田のミドルシュート、香井の速攻で2点を先取したが、本田熊本も山口のポストシュート、三代の速攻などで4連続ゴール。その後トヨタは川田を中心に得点を重ねた。本田熊本もダブルスカイを決めるなどして得点し、13-13で前半を終了した。後半、本田熊本はトヨタ・川田に対してマンツーマンディフェンスをしたが、攻撃でミスが目立ち、トヨタが先行した。本田熊本はベテラン長野

を投入し、一度は同点に追いつくが、最後は26-21でトヨタ自動車

が本田技研熊本をふり切った。

〔熊〕尾本野田代村中崎野伯野
〔中〕坂矢荒三松田山川長佐長
(2) 21

G K F P (審・今井田) P T
〔熊〕尾本野田代村中崎野伯野
〔中〕坂矢荒三松田山川長佐長
(2) 21

〔三〕景 34 〔1618137〕 20 トヨタ
自動織機

〔戦評〕両チーム共負けられない一戦。三景の先取点でスタート。シュートミスが目立つトヨタ車体に対して、左腕・西川らのシュートで着実した三景が18-7とリードして前半終了。後半に入ってもトヨタ車体はペースをつかみきれず、連続得点が取れない。残り12分は16点差とし、三景が楽勝した。

得0019140230000
〔車〕田林統野田鳥合長井野山上
〔宮〕村吉長養君河藤松平久井
(5) 20

G K F P (審・松ケ谷) P T
〔景〕川橋村藤永士川藤谷山原池
〔三〕北長田近福福西齊大小木赤
得003340066418002
(2) 34

日鉄建材 28 〔12161012〕 22 豊田自動織機

〔戦評〕前半立ち上がりから日鉄建材は上山のロングシュート、カッティンを中心に得点をあげた。豊田自動織機も諫山のサイドシュート、山内のロングシュートなどで得点したが、シュートミスが目立ち、日鉄にリードを許す。後半、自織は日鉄の上山にマンツーマン・ディフェンスをするなどしたが、日鉄 GK 川上の好キープینگにシュートが決まらず、28-22で日鉄が勝利を収めた。

〔戦評〕前半立ち上がりから日鉄建材は上山のロングシュート、カッティンを中心に得点をあげた。豊田自動織機も諫山のサイドシュート、山内のロングシュートなどで得点したが、シュートミスが目立ち、日鉄にリードを許す。後半、自織は日鉄の上山にマンツーマン・ディフェンスをするなどしたが、日鉄 GK 川上の好キープینگにシュートが決まらず、28-22で日鉄が勝利を収めた。

得002435500003
〔機〕田村江畑野山内嶺城田浦
〔織〕柴中蟹奥大諫山笹大鎌杉
(1) 22

G K F P (審・今井田) P T
〔鉄〕嶋上本口辺山山原川本
〔日〕岩川杉山池上外清古若
得003921210001
(2) 28

中村荷役 29 〔1316912〕 21 大阪ガス
自動織機

〔戦評〕中村荷役は立ち上がりペナルティースローで2得点したが

〔順位〕①トヨタ自動車(7勝) ②三景(5勝1分1敗) ③トヨタ車体(4勝1分2敗) ④中村荷役運輸(3勝2分2敗) ⑤本田技研熊本(3勝2分2敗) ⑥日鉄建材工業(1勝6敗) ⑦大阪ガス(1勝6敗) ⑧豊田自動織機(1勝6敗)

10月23日(日)
香川・香川町総合体育館
北国銀行 27 〔1413138〕 21 プラザ
業

〔戦評〕北国銀行の切れ味鋭いカッティンプレーやサイドシュート

大阪ガスも中村荷役の甘いディフェンスをつき得点をあげたが、所要所で中村荷役の飯田に得点を許した。

後半、大阪ガスは連続2得点したが、中村荷役がガスの甘いディフェンスをつき速攻、ポストなどで得点を加えふり切った。

得001285320
〔ス〕田 野志村田谷坂田 森
〔ガ〕福 奥竹中長水田藤
(5) 21

G K F P (審・足立) P T
〔村〕井坂尾田村木成本戸田田口
〔中〕石飯三塚中大下松堀池飯坂
得00620100206330
(4) 29

〔順位〕①トヨタ自動車(7勝) ②三景(5勝1分1敗) ③トヨタ車体(4勝1分2敗) ④中村荷役運輸(3勝2分2敗) ⑤本田技研熊本(3勝2分2敗) ⑥日鉄建材工業(1勝6敗) ⑦大阪ガス(1勝6敗) ⑧豊田自動織機(1勝6敗)

〔戦評〕前半をリードした。プラザもポストプレーなどで応戦するが、GK木戸の守りに阻まれ、思うように得点できず前半を終了した。後半の立ち上がり、プラザの速攻がよく決まり追いつけるが、追撃がやや遅かった。

〔戦評〕北国銀行の切れ味鋭いカッティンプレーやサイドシュート

〔戦評〕北国銀行の切れ味鋭いカッティンプレーやサイドシュート

得0060005305200
【工】数本木永田倉上尾田斐藤井
大岡荒末原坂道松野甲進香

G K F P (審・武原)

得005653700010
【北】戸井田 後田川崎 川 金森
木岩上 丹松北川 北

10月30日(日)
大分・大分県立総合体育館

ジャスコ24 [186124] 16ソニ

【戦評】ソニー国分・宮原の得点で前半をすべり出したが、ジャスコ、ソニーともにGKを中心によく守り、6-4とジャスコのリードで前半を終了。後半ジャスコは川井、王、渡辺らのシュートで点を広げたが、ソニーも藤元のペナルティースローで追いついた。ジャスコは、25分過ぎ近藤の4連続得点で突き放して勝利をものにした。

得0103012702
【ソ】木角原石郷口元本尾
二多 斜野宮白東山藤楠永

G K F P (審・大和)

得00001160054016
【ジャ】田部木田藤田辺井田田
深々々々々々々々々々々々王

10月30日(日)

神奈川・秋葉台文化体育館

JUKI 27 [17101611] 17ムネカタ

【戦評】前半はややムネカタペース。ムネカタの1点リードで前半を終了。後半に入ってからムネカタにミスが目立ち始め、JUKIがそのミスから速攻を連発、一気に突き放して快勝した。

得001735100
【ネ】藤妻藤名田井橋野葉
遠我伊川太桜高上千

G K F P (審・石川)

得010616002623
【U】角 塚井藤田田山原谷林谷
大 石石佐上嶋内伊古大熊

11月3日(木)
岩手・紫波町立体育館

北国銀行30 [1812105] 15ムネカタ

【戦評】北国銀行がセットオフエンスは金明恵のパスから、松田の回り込みジャンプシュート、丹後のステップシュートと多彩な攻撃を見せて前半で大きく優位に立つムネカタも桜井のポストがよく光ったが、点差を縮めるまでは至らなかった。

得00003372000
【ネ】藤妻藤名田井橋野葉
遠我伊川太桜高上千

G K F P (審・高橋)

得00001597100160
【北】戸井田 後田川崎 川 金森
木岩上 丹松北川 北

11月5日(土)
山口・徳山市体育館

ジャスコ23 [12117] 15JUKI

【戦評】開始早々よりジャスコは速攻で有利な試合展開となったが、中盤よりJUKIも確実なシュートで着々と得点を重ね一時同点にまでこぎつけた。以後1-2点差で互角の試合運びとなったが、前半の終盤よりジャスコもシュートミスが少なくなり、優勢のうちに試合を進め、じりじりと点差を広げて試合を終了した。

得000062301111
【U】角塚井藤田田山原谷林谷
大 石石佐上嶋内伊古大熊

G K F P (審・増所)

得00002136200126
【ジャ】田部木田藤田辺井田田
深々々々々々々々々々々々王

11月6日(日)

鳥取・境港市民体育館

ブラザー 28 [141417] 15ソニ

【戦評】前半、ブラザーは道上的動きが良く、荒木のアシストもあって立ち上がり4-1とペースをつかんだ。粘るソニーも中盤より宮原のポストで応戦するが、14-7で折り返す。後半に入り両者共リズムがつかめず、一進一退の展開となったが、ディフェンスが荒いソニーに退場者が出て、4連続得点のブラザーペースとなる。終盤でまた点の取り合いとなるが、得点差は縮まらず、28-15でブラザーが勝利を収めた。

得000300323004
【ソ】木角原石郷口元本尾
二多 斜野宮白東山藤楠永

G K F P (審・早田)

得0009100740007000
【工】数本木永田倉上尾保田藤井
大岡荒末原坂道松大野進香

11月19日(土)
東京・JUKI体育館

ブラザー 25 [1312121] 23JUKI

【戦評】前半、ブラザーはJUKIの速い動きに自分たちのペースを乱し、ノーマークシュートのミ

スを多発、一時は3点のリードを許したが、荒木のペナルティースローで同点とし、逆に1点をリードして前半を終了。後半も追いつ追われつのシーソーゲームで、双方共スピーディなゲーム展開を見せたが、ミスが多く得点に結びつけることができず、ブラザーが接戦を逃げ切った。

得002604025531
【U】角 塚井藤田田山原谷林谷
大 石石佐上嶋内伊古大熊

G K F P (審・市瀬)

得00054341260000
【工】数本木田倉上尾保田斐藤井
大岡荒原坂道松大野甲進香

ジャスコ31 [1714158] 13ムネカタ

【戦評】終始押し気味のジャスコは、前半開始早々6連続得点をあげる強さを見せた。その後ムネカタも川名のサイドシュートなどからペースをつかんだが、最初の6

得0002323020
【ネ】藤妻藤名田井橋野葉
遠我伊川太桜高上千

G K F P (審・門井)

得00033220281417
【ジャ】田部木田藤田辺石井田田
深々々々々々々々々々々々王

0が大きく響き、14-8と大差をつけられ折り返した。ムネカタは荒っぽい攻撃と単調なミスでなかなか得点できず、ジャスコの圧勝に終わった。

北国銀行 29 [1316-910] 19 ソニ

〔戦評〕北国銀行は立ち上がりから速い攻撃で松田、北川らの速攻とPTなどで8分過ぎには5-0とし、一方的なゲーム展開となる

に見えたが、ソニーも11分過ぎから山口、藤元で反撃、17分には7-8と1点差に詰め寄る。しかし、20分過ぎにソニーは2人の退場者を出し、また3本のノーマークシュートをミスし、北国が16-10とリードして前半を終了。後半に入っても、スピードのある攻撃展開で北国はソニーのディフェンスを崩して快勝した。

得0 05012731
石 木原石郷口光本尾
〔ソニ〕 斜宮白東山藤楠永

G K F P (審・後藤) P T (3) 19

〔戸井〕 後田川崎川 木
〔北〕 林 丹松北川北 鈴 森
〔国〕 木 上 6 3 6 9 1 0 2 0 1
〔得〕 0 0 1 6 3 6 9 1 0 2 0 1

11月20日(日)
東京・JUKI体育館

JUKI 20 [1010-119] 20 ソニ

〔戦評〕前半の立ち上がりソニーが優位に展開するが、徐々にJUKIが追い上げてシーソーゲームを展開する。

後半、両者共お互いのディフェンスに攻めあぐみながら、JUKI・古谷、ソニー・藤元を中心とした好ゲームを展開。結局20-20で引き分けた。

得0 07053500
石 木原石郷口元本尾
〔ソニ〕 斜宮白東山藤楠永

G K F P (審・水越) P T (2) 20

〔角〕 塚井藤田田山原谷林谷
〔U〕 石 石佐上嶋内伊古大熊
〔得〕 0 0 8 1 3 0 1 5 2 2 0

J 27 [1314-128] 20 北国銀行

〔戦評〕共に3戦全勝同士の対決で大変興味を集めたが、前半の立ち上がりは共にシュートが決められずロースコアの展開。しかし、中盤を過ぎてジリジリとジャスコ

得0 004337003000
戸井 後田川崎川 木
〔北〕 林 丹松北川北 鈴 森
〔国〕 木 上 6 3 6 9 1 0 2 0 1

G K F P (審・浜田) P T (5) 20

〔田部〕 木田藤田辺井田田
〔ジャ〕 深 木 佐々 近池渡川武池 王
〔得〕 0 0 3 1 1 1 1 0 10 3 2 2 4

27 (4) P T

がリードを奪い、14-8で前半を折り返す。後半の立ち上がり、北国も北川が3本連続でPTを決めるなどして追い上げるが、結局一進一退の展開となり、前半のリードを保ったジャスコが逃げ切り、全勝を守った。

ブラザー 32 [1616-177] 14 ムネカタ

〔戦評〕前半立ち上がりムネカタが2点を連取するが、ブラザーもすぐに追い上げ3分過ぎには2-2と同点に追いつき、以後終始先手を取ってブラザーがリード。ムネカタは10分から20分までの10分間無得点に陥り、ブラザーが16-7と大きくリードして前半を終了。後半に入ってもブラザーペースは変わらず、着々と点差を広げて快勝した。

得0 003235010
藤妻藤名田井橋野葉
〔ネ〕 遠我伊川太桜高上千

G K F P (審・川口) P T (2) 14

〔工〕 数本木藤田倉上尾井保田斐
〔大〕 岡荒進原坂道松香大野甲
〔得〕 0 0 10 1 3 2 2 3 1 2 1 7 2

11月26日(土)
三重・四日市市体育館

ジャスコ 25 [1015-138] 21 ブラザー

〔戦評〕今一つスピードに乗れな

いブラザーに対し攻守共にスピードのあるジャスコは王を中心に着実に加点し、15-8と7点差をつけて前半を終了。

後半、ブラザーもGKに岡本の堅守、サイドシュートを中心に必死に食い下がりを見せたが、前半の点差が大きく影響し、逆転することができなかった。

得0 005134205100
数本木永田上尾保田斐藤井
〔工〕 大岡荒末原道松大野甲進香

21 (3) P T

〔田部〕 木田藤田辺井田田
〔ジャ〕 深 木 佐々 近池渡川武池 王
〔得〕 0 0 3 3 3 0 6 0 4 1 1 4 3

G K F P (審・杉本) P T (4) 25

〔石川〕 金沢市総合体育館

北国銀行 30 [1911-1215] 27 JUKI

〔戦評〕前半開始3分、落雷による停電による10分あまりの中断があったものの、両者共鋭い動きで一進一退の攻防だった。ディフェンスに精彩を欠く北国をJUKIがよく攻め、点差を広げていった。

しかし、後半に入っても北国も粘り強く追い上げ、激しい点の取り合いとなったが、GK木戸の再三にわたる好守に元氣を得た北国が逆転勝ちを収めた。

得0 001033230
藤妻藤名田井橋野葉
〔ネ〕 遠武伊川太桜高上千

G K F P (審・小坪) P T (2) 12

〔順位〕①ジャスコ(5勝)②北国銀行(4勝1敗)③ブラザー工業(3勝2敗)④JUKI(1勝1分3敗)⑤ソニー国分(1勝1分3敗)⑥ムネカタ(5敗)

得0 0052203825
塚井藤田田山原谷林谷
〔U〕 石 石佐上嶋内伊古大熊
〔得〕 0 0 0 3 10 2 8 0 4 3 0 0

G K F P (審・志々場) P T (4) 30

〔富山〕 高岡市民体育館

ソニ 28 [1513-175] 12 ムネカタ

〔戦評〕攻守の要であるソニー国分・藤元の好アシスト及び自らのシュート(P.Tを含め14得点)による活躍が光り、ソニー国分が前半より優位に展開、大差をつけて快勝した。

得0 001033230
藤妻藤名田井橋野葉
〔ネ〕 遠武伊川太桜高上千

G K F P (審・小坪) P T (2) 12

〔戸井〕 後田川崎川 木
〔北〕 林 丹松北川北 鈴 森
〔国〕 木 上 6 3 6 9 1 0 2 0 1

G K F P (審・小坪) P T (2) 12

〔順位〕①ジャスコ(5勝)②北国銀行(4勝1敗)③ブラザー工業(3勝2敗)④JUKI(1勝1分3敗)⑤ソニー国分(1勝1分3敗)⑥ムネカタ(5敗)

28 (2) P T

権		▼男子2部	
金沢大	21	長野大	18
富山医薬大	51	富山大	39
北陸大	23	長野大	17
北陸大	21	金沢大	14
長野大	17	富山医薬大	14
富山大	25	北陸大	16
金沢大	21	富山医薬大	14
富山大	38	長野大	5
北陸大	27	富山医薬大	17
富山大	35	金沢大	15

〔順位〕①富山大②北陸大③金沢大④長野大⑤富山医薬大

豐田工專	29	26	岐阜大	静岡大	26	15	愛知学大
名経大	30	25	三重大	南山大	20	8	三重大
名工大	39	26	常葉学園大	岐阜大	39	14	愛知学大
豐田工專	36	36	三重大	静岡大	17	15	岐阜大
名工大	33	20	三重大	南山大	35	8	愛知学大
名経大	37	20	豐田工專	静岡大	29	16	皇学館大
岐阜大	41	24	常葉学園大	南山大	25	14	皇学館大
岐阜大	28	26	名経大	愛知学大	27	25	皇学館大
三重大	29	29	常葉学園大	皇学館大	20	18	三重大
三重大	27	26	岐阜大	岐阜大	33	29	皇学館大
豐田工專	42	25	常葉学園大	三重大	29	14	愛知学大
名工大	23	23	名経大	(順位)①南山大②三重大③静岡大			
名工大	29	22	岐阜大	大④岐阜大⑤皇学館大⑥愛知学院大			
名経大	38	23	常葉学園大				

立命館大	京大	京大	京大	京大	京大	男子3部	甲南大⑦神戸大	(順位)①関西大②近畿大③大阪教育大④大阪大⑤関西外国語大⑥	甲南大	甲南大	関外大
6	26	25	25	19	21	17			25	28	33
13	13	23	18	17	18	14			24	25	22
大府大	仏教大	龍谷大	大市大	和歌山大	立命館大	大府大			神戸大	阪大	甲南大

	愛知大	静岡大	日福大	滋賀大	名学大	南山大	静岡大	愛知大	滋賀大	男子3部				
(順位)	①愛知大	②静岡大	③日本											
福祉大④南山大⑤名古屋学院大⑥	32 21	22 20	30 20	27 19	24 16	23 17	30 27	21 15	29 26	22 21	17 14	31 25	28 15	18 16
	日福大	静岡大	滋賀大	日福大	名学大	南山大	滋賀大	南山大	名学大	滋賀大	滋賀大	名学大	南山大	滋賀大

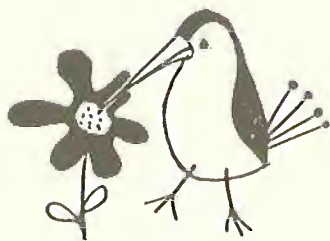
南山大	南山大	三重 大	三重 大	女子2部	大学館大④愛知医大⑤豊橋技術科学	(順位)①朝日大②豊田工大③皇	朝日大	皇学館大	豊橋技科大	豊田工大	朝日大	皇学館大	豊田工大	皇学館大	朝日大	朝日大
36 17	30 10	23 11	17 15				12 0	32 32	12 0	30 27	28 17	26 18	12 0	12 0	33 25	32 24
岐阜大	静岡大	岐阜大	静岡大				愛知医大	豊田工大	愛知医大	愛知医大	皇学館大	愛知医大	豊橋技科大	豊橋技科大	豊田工大	豊橋技科大

関 阪 阪 大 大 大 大 近 近 近 近 近 関 関 関 関 関 関
 外 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教
 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
 25 36 38 25 33 30 22 38 34 25 33 36 29 27 27 28 29 25
 19 28 21 23 26 22 18 23 22 12 20 23 13 14 22 12 18 21
 神 関 神 関 甲 神 阪 大 阪 関 甲 神 大 関 甲 神 阪 近
 戸 外 戸 外 南 戸 教 外 南 戸 教 外 南 戸
 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

和歌山大	和歌山大	和歌山大	仏教大	仏教大	仏教大	仏教大	大市大	大市大	龍谷大	〔順位〕 ①京都大 ②立命館大 ③和歌山大 ④仏教大 ⑤大阪市立大 ⑥龍谷大 ⑦大阪府立大	男子4部	大工大	関学大	大工大	滋賀大
23	27	31	39	23	27	27	20	20	29			30			
20	10	14	17	19	20	25	19	13	26			18			
立命館大	大市大	龍谷大	大府大	和歌山大	大市大	龍谷大	大府大	龍谷大	大府大			京工大	関学大	大工大	滋賀大

(株)スポーツイベント 〒101 東京都千代田区神田小川町1-9 川上ビル3F ☎03-294-5231(代)

	。7月9位決定リーグ	
追手門大	13—12	大外大
追手門大	12—0	園田女大
大外大	12—0	園田女大
〔順位〕①滋賀大②奈良女子大③ 甲南大④奈良教育大⑤立命館大⑥ 京都府立大⑦追手門学院大⑧大阪 外国語大⑨園田学園女子大		



山口県学生

● “まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

ホッ コク

北國銀行

ニューヨーク

未来をみつめる健康テクノ

asics

走る、跳ぶ、投げる。
制空権を得るためのスカイハンド®。

より高い跳躍とより長い滞空時間。
よりコンパクトなテイクバックとスピーディなスローイング。
ここに至るには地道な長い練習の日々と、
勝負に臨んでの集中力と爆発力が必要である。
この日のために努力を重ねてきた選手たちに――。
バイオメカニクスで育てられたウェアとシューズ。
アシックスよりおくりします。



SKYHAND®

ASICS Handball Wear



asics® TIGER®

ASICS Handball Shoes

株式会社 アシックス ●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町2丁目1番11号 TEL(078)303-2233(専用)・(078)303-3333(大代表)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL(03)624-1814(専用)・(03)624-2721(大代表) ■Rは商標アシックスの登録商標です。

視界、360°

経済情勢の視界、良好ですか？

時々刻々と移り変わる情報をいかにすばやくキャッチして

いかに的確な判断を下していくか。これが資産運用の条件です。

東洋証券は、あなたの資産運用の水先案内人。

確かな情報網とキメ細かいサービスで、明日への視界をひろげます。



東洋証券

■本店：〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電話：03(274)0211 ■資本金：113億円強 ■社員数：1,400人
■店舗網：全国42店舗 海外：ロンドン・ニューヨーク・香港

中期国債ファンド

〈公社債投資信託・追加型〉〈設定・運用は日興投信〉

好利回りで、出し入れ自由

- 1ヵ月複利で好利回り。
- 1ヵ月据え置けば、手数料なしで出し入れ自由。
- （お申し込みは10万円以上1万円単位）